1443
1303

114
A21

検察事務順序

検査廳事務順序

第一條

凡ソ金穀出納ニ關スル條件ハ成規定例ニ照當シ其當否得失ヲ審案シ經費一切之帳簿ヲ檢査勘算ス

第二條

本廳ノ諸務ハ職制ト分課ノ科目ニ從ヒ各其事務ヲ整理シ互ニ踰越ス可カラス

第三條

院省使各廳局及ヒ府縣ヨリ申請スル所ノ一切

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

定額金穀之出納ハ其定額之本高ニ照シ其当否計數ヲ調正シ申請之額相当ナレハ寮頭之ニ捺印シ直ニ傳票課ニ付シテ傳票ノ順序ヲナサシ若シ違算差謬アルハ則チ其主任ニ推問シ又ハ本首受付課ヲ経テ其申牒ヲ返却スル事アル可シ

第四條

臨時金穀ノ申請其主任寮局課ニテ考案ヲ陳具シ各識ニ付スル者ハ其当否ヲ検考シ其計數ヲ査覈シ差異ナキヲ保シテ之ヲ卿輔ニ出ス若シ其当ヲ失スルカ或ハ違算ホアルヤハ意見ヲ付シテ之ヲ卿輔ニ出シ或ハ其主任ニ返却シテ覆案セシムル事アル可シ

第五條

本額之豫定シ難キ金穀ニテ臨時ノ概算ヲ以テ出納ヲ請フノ類ハ其申牒ニ因テ当否ヲ審案シテ之レカ考案ヲ具シ卿輔ノ決議ヲ請ヒ若クハ正裁ヲ経テ之ヲ處置ス可シ

第六條

正院之特判ヲ以テ決定セシ臨時金穀ノ出納又

八破格ヲ以テ一時常額ヲ増給スル等ハ其指揮
ニ従ヒ出納ノ事由ヲ詳記シテ之ヲ傳票課ニ廻
シ傳票ノ順序ヲ履ナサシムヘシ

第七條

全國ノ地租關稅印紙及ヒ特許稅外國輸出入稅
其他歲入ニ關スル簿冊或ハ造幣諸工場ノ計算
外國交際ノ諸費其他一切計算ヲ要スル簿冊或
ハ真貨紙幣并諸會社特許ノ金券發行ノ高及ヒ
內外國債并利子ノ拂方等總テ貨貸ニ關スル帳
簿各主任ノ寮局課ヨリ正算ヲ乞フ者ハ調査精
美ニ差異ナキヲ保シテ其計算書ニ主務ノ官員
及ヒ寮頭之ニ捺印ヲ捺シ之ヲ主任ノ寮局課ニ還
付ス

第八條

凡ソ金穀ノ收入支出ス可キニ決シタルハ各主
任寮局ヨリ送付セル回議簿冊又ハ傳票達書ニ
從テ常用ト準備ト收入支出等ノ区分ヲナシテ支
拂數ト事由トヲ出納簿冊ニ詳記シ勘合ノ印ヲ
捺シテ以テ傳票課ニ送達ス可シ故ニ院省使寮
司局府縣等ノ名号及ヒ当用準備納拂ノ区分明

瞭ナル簿冊ヲ製シ出納ノ際徹ノテ支離紊乱ナ
キヲ要ス

第九條

凡ソ收入支出ノ金穀ニシテ地租ヲ始メ租稅寮ニテ携理徵收スルモノハ周月毎限同寮ニテ勘定帳ヲ製シ稅外ノ收入及ヒ一般支出スル金穀ハ当用金穀準備金穀ヲ區分シ出納寮ニテ勘定帳ヲ製シ諸向ヨリ出納頭ノ沿充ヲ以テ差出タル請取證書トヲ併セテ卿ニ呈シ卿一覽ノ後本寮ニ受付スヘシ

第十條

租稅出納両寮ニテ調成スル勘定帳ハ凡ソ收出スル金穀ニ於テ臺モ違酒ナキモノナレハ傳票證印ノ節本寮ニ於テ保存スル簿冊ヲ執テ之ト勘合精理シ追策調査ノ基礎トスヘシ

第十一條

租稅寮ニテ毎一月調成スル諸稅收入ノ勘定帳ハ其簿ヲ調査シ了テ收入決算ノ證書ヲ製シ勘定帳ト證書トニ寮頭ノ印ヲ勘合シ之ヲ卿ニ呈シ卿調印ノ後本寮ニ受ケ之ヲ租稅寮ニ付シ

収入ノ時々出納寮ヨリ租税寮ニ付與シタル請取證書ヲ領収シ之ヲ出納寮ニ還付スル可シ

第十二條

出納寮ニテ調成スル毎一月収出ノ勘定帳ハ精査之後当用金穀ト準備金穀トヲ區分シタル決算濟ノ證書ヲ製シ勘定帳ト證書トニ寮頭勘会ノ印ヲ證シ以テ卿ニ呈シ卿調印ノ後傳票課ニ付シテ出納寮ニ交付スルノ手續ヲ成サシムルトモノトス

第十三條

院省使庁縣ヨリ送付スル經費勘定帳ハ（院省東京庁ハ一ヶ月縣ハ三ヶ月毎ニ差立スルヲ定規トス）其簿冊ヲ調理精算シ金穀正実ノ完結ニ至ルトモ否ラサルトヲ分チ決算既済ノモノハ支貸數ト事由トヲ記シタル決算濟ノ證書ヲ製シ勘定帳ト證書トニ寮頭ノ印ヲ勘合シ卿調印ノ後本寮ニ受ケ出納頭ノ名宛アル請取證書トヲ併セテ主勢ノ院省等ニ交付スヘシ

第十四條

前条ニ掲クル金穀支出ノ分未タ結算ニ至ラサルモノ又ハ追テ納付ス可キ殘金アルモノハ他

日結算完結スヘキ旨ヲ記載シタル證書ヲ發頭
人ニ交付スヘシ
若死ヲ以テ若出サシメ決算ノ済未済ヲ引ヲ
追算簿ニ詳記シ漸次收ノ如クシテ決算遂綴ナ
カラシムルヲ要ス而シテ整理済勘定帳ヲ以テ
一目明瞭タル精算表ヲ製シ正院及ヒ卿輔ヘ進
達スヘシ若シ勘定帳簿差出シ方遅延スル事ア
レハ之ヲ督促カヘシ

第十五條

諸省及ヒ三府常額金遣拂精算ノ上ナホ殘餘ア
ツテ上納スヘキモノ納付遅延ノ向ハ其時々督
促シテ速ニ納付セシムヘシ

第十六條

院省使及ヒ府縣ヨリ歳入歳出ヲ豫算シテ支
出ノ概計ト共ニ現實ノ收入支出トノ比較表
ヲ制シ之ヲ若出セハ本寮ニ於テ之ヲ調正シテ
卿輔ニ進達スヘシ

第十七條

凡ソ金穀ニ關係ノ事件ヲ正院又ハ卿輔ヨリ下
問アル時ハ則チ之ヲ勘案シテ意見ヲ詳記シ返
進スヘシ

第十八條

金穀出納ニ關スル事務ハ其實際ヲ詳悉スルタメ時々出納寮中ノ官員ヲシテ時日ヲ豫告シテ抵リ其簿冊ヲ點檢シ又ハ臨視スルヲ得ヘシ

但時宜ニ因リ寮中ノ官員ヲシテ時日ヲ豫告セシメル事アリ

第十九條

倉庫ノ鎖鑰及ヒ開閉ハ出納頭ノ所管タリト雖モ寮頭ハ時々出納頭ト共ニ倉庫中ニ抵リ其實況ヲ檢視スヘシ倉庫ノ鍵鑰ハ其一ヲ分ツテ寮頭之ヲ管守スヘシ

第廿條

紙幣及ヒ公債證書又ハ諸印紙類ノ製造其他金穀ニ關スル緊要ノ事務ハ寮頭實地ニ臨ミ之ヲ擔閱スヘシ

但時宜ニ因リ寮頭ノ指揮ヲ以テ寮中ノ官員ヲシテ擔視セシムル事アルヘシ

第廿一條

銀行ヘ預ケ金有高取調或ハ旧楷幣燒却等ノ爲メ主任ノ寮官ヲ張スル時ハ本寮ニ於テモ之ヲ

立會ヒシ共ニ出張檢查セシムルコトヲ可シ

第廿二條

出納事務ニ關スル規則ヲ設ケ又ハ之ヲ改正シ或ハ計算ニ便ナラシムル事實際ノ施為ニ付キテ之ヲ要スル事アレハ其法案或ハ計算ノ雛形及ヒ算則ノ方法ヲ作リ卿輔ノ決判ヲ請クヘシ

但其事他寮ニ渉ルハ各寮ヘモ回議シ或ハ正院ノ御可ヲ乞フヲ可シ

第廿三條

凡ソ寮中掌管ノ事務他方ヘ指令シ或ハ布達スル等ハ都テ卿輔ノ名ヲ以ラシ尋常照會推問督促等ハ寮頭ノ名ヲ以テ往復スルヲ得ヘシ

第廿四條

結算完了セシテ勘定帳ハ精算表ト共ニ之ヲ卿輔ニ出シ施行濟ノ回議簿冊ハ編輯課ニ於テ之レヲ寫シヲ作リ本書ト共ニ記錄寮ニ送致スルコトヲ可シ

第廿五條

寮中諸書類諸簿冊ハ順次之ヲ編纂シテ後考ニ備フルコトヲ可シ

第廿六條

出納事務ニ関スル諸布令諸規則及ヒ時々ノ令達等ハ常ニ寮中ニ蔵置シテ成規定例ヲ明ニシ判案差異アラシムル可ラス

第廿七條

寮中一切ノ處務ハ毎件之ヲ集録シテ毎三ヶ月ニ区分シ詳明ナル考課帖ヲ作リ之ヲ卿輔ニ進達スヘシ

第廿八條

寮中諸官員ノ月給旅費及ヒ営務ニ関スル一切ノ経費筆墨什器等ハ毎件寮頭及課長ノ検印ヲ以テ之ヲ弁シ本省用度課ヨリ受領ス可シ

第廿九條

寮中官員ハ勤退ノ時限ヲ休暇等本省ノ規則ニ随ヒ遅延曠留アル可カラス尤妻任以上若シ不参ノ節ハ相互ニ同僚ニ報シテ本省ニ達シ判任以下事故アリテ出勤シ難キトキハ其旨趣書取ヲ以テ同課ヘ報シ課長調印ノ上寮頭ニ申達ス可シ

第卅條

各官員若シ廿日以上ニ屆スル願届ボノ事アル時ハ
寮頭ノ添書ニ押印ヲ請ケ之ヲ本省職務課ヘ
進達スル可シ

第廿一條

寮中ノ屢務ヲ分掌擔理セシムル為メ左ノ九課
ヲ置ク

但事務ノ繁閑ニ隨ヒ更ニ各課ヲ廢置スルハ
寮頭ノ可否ヲ以テ卿輔ノ決裁ヲ經テ之ヲ定
ムル可シ

第廿二條

大藏省

每一課ニ長一員ヲ置キ各課ノ事務ヲ掌管擔任
セシム是ハ助以下奏任官ノ職任トス然レドモ欠
員アルカ或ハ事務ノ繁簡ニヨリ一人両三課ヲ
兼ヌルヲ得又ハ課長心得ノ名ヲ以テ正權ニ屆
ヨリ補充セシムルコトアルヘシ

第廿三條

課長ハ負擔当ノ事務ニ於テハ寮頭ニ對シテ切
當ニ論弁スルヲ得又課中大屆以下ノ能否勤
惰ヲ監視シテ之ヲ稟白スルヲ得ヘシ

受付課

各庁縣ノ申牒書及ヒ諸察司面諤ノ回議冊及
他一切ノ文書帳簿ヲ受付送達スルヲ掌ル

按業課

諸察司局課ヨリ回致スル所ノ議冊ヲ展按シ
成規例格ニ照シ事理ノ當否ヲ考察審案スル
事ヲ掌ル

備勘課

察中一切ノ經費ヲ洞理シ及雜勘ヲ并知シ該
察官員ノ履歷ヲ管理シ給仕小使等ノ取締ヲ
掌ル

編輯課

察中一切ノ文書帳簿ヲ當集シ及ヒ考課帖ヲ
作ル等ノ事ヲ掌ル

第一成算課

定額アル諸經費ヲ調査交付シ及ヒ定額規則
等ノ考案ヲ詔理スル事ヲ掌ル

第二成算課

院省使察司ノ經費及ヒ収入ノ勘定帳簿ヲ整
理スル事ヲ掌ル

第三成算課

各庁縣ノ経費及ヒ収入ノ勘定帳簿ヲ整理スル事ヲ掌ル

第四成業課

一切ノ経費支拂ノ際其計數ヲ正算シ及ヒ官納國債両寮ヨリ支出金穀ノ證書ヲ領収シ決算未済ヲ督促追調スルヲ掌ル

第五成業課

各課ニ於テ整理セシ勘定簿冊ヲ収領シ成業完結ノ表ヲ調理スル事ヲ掌ル

右九課ヲ設ケ寮中一切之事務ヲ分掌セシメ

ノ手續滞ナキヲ要スル而シテ其事務ヲ處スル必ス其順敘ヲ明晰ニセサル可カラス故ニ左ニ順敘ヲ掲ケテ分掌ノ規程トス

各課相共ニ協同幾カノ苟モ事務ノ怠ルヿ勿ラシム可シ

受付課處務順序

受付課處務順序

第一條

院省使察局ヨリ送致スル諸公文ノ受付ヲ為ス事

第一節

院省使察局ヨリ送致スル所ノ諸公文類都テ本省ヨリ送付スルモノハ當課之ヲ領収シ其趣旨ノ概略及ヒ月日等ヲ受付件名簿ヘ登記シ而頭或ハ代理ノ指揮ヲ請テ以テ專掌ノ課ヘ送達ス

第二節

專掌ノ課ニ於テ管主ノ者稟議ニ由テ上申
或ハ囲谷等ノ議案ヲ作リ原書ヲ添ヘ所関
ノ各課ハ囲議シ頭或ハ代理ノ検印ヲ請ケ
了テ之ヲ當課ニ付ス當課ニ於テ検査ノ印ヲ
押シ番号ヲ記シ又受付件銘簿ヘ其月日ト
管主ノ姓名トヲ割記シ囲覧協議ヲ要スル
ノ寮局アルモノハ之ニ送付シナキモノハ
直ニ省囲議受付課ニ出シテ卿輔ノ決ヲ
乞フ

第三節

卿輔決判済ノ上又本寮ヘ送致ス當課ニ於
テ議冊ノ押印ヲ點検シ其異議等ノアルコ
ナキモノハ直ニ之ヲ管主ニ移牒シ而上申
或ハ囲谷等ノ文書ヲ浄書セシメ本書ヲ添
テ當課ヨリ本省往復課ヘ送付ス同課議冊
ヘ達済ノ印ヲ捺シ返還シ来レハ直ニ受付
件銘簿ヘ達済ヲ記シテ管主者ヘ還了ス都
テ出入送達當課ヲ經由シ件銘簿冊ニ必ス
受領者ノ小印ヲ請ケ遺脱ナカラシム可シ

第二條

各府縣ヨリ申牒スル諸文書ノ受付ヲ為ス事

第一節

各府縣ヨリ申牒スル諸願伺届共本省受付課ヨリ送致シ来ルアレハ受付件名簿ニ登記シ而配達ノ手順ハ院省使等ノ諸公文受付ノ順序ニ同シ尤由議冊ニ卿輔ノ決判アルモノハ本書ヲ付シ本省受付課ニ出シ同課ニ於テ指令文ヲ浄寫シテ申請セル府縣ヘ傳送ス寮頭決判ニテ卿輔ノ名ヲ以テ指令スルモノハ管主者指令文ヲ浄書ノ上本書ヘ添ヘ寮検査省受付課ニ送リ寮印ノ印ヲ割押シ而シテ本但本寮宛ノ申牒諸文章ニ寮頭ノ名ヲ以指令及伺荅スルモノハ之ニ本寮ノ印章ヲ勘合シテ府縣官員ノ月番ヘ付典ス尤請証簿ヘ證印ヲ受クベシ

第三條

各方ヨリ諸費精算帳ヲ上達スル節受付ヲナス事

第一節

院省使廳局ヨリ毎月定額月費臨時米金等ノ諸費精算帳ヲ上達スルアレハ當課之ヲ精算帳件銘簿ヘ登記シ第二成算課專掌ノ掛リヘ送付ス同掛於テ別ニ帳ヲ製シ其件銘件數及ヒ月日ト共ニ管理スルモノヽ姓名トヲ記載シ而メ之ヲ調査ス若調査上推問改算ヲ要スルガ為メ管理者ヨリ直ニ其院省等ヘ徃復スルコアリテ回答ヲ付シ未レハ當課之ヲ第二成算徃復簿ヘ記載シテ又管理ノ者ニ送付ス

第二節

各府縣ヨリ差出ス町ノ精算帳ハ之ヲ府縣受付件銘簿ニ登記シ第三成算課專掌ノ掛リニ送達スルコ前章ニ同シケレハ之ヲ畧ス

第四條

諸回議諸回達類共傳票ヲ要スルモノ等ノ受付ヲ為ス事

第一節

各寮局課ニ於テ建議立案スルトコロノ凹
議冊検閲ノ為メ本寮ヘ回達シ来ルモノハ
凹議件鉛簿ニ受付月日及ヒ擔當者ノ姓名
等ヲ詳記シ凹議冊寮名ノ肩ニ受付ノ月日
ヲ記ヲシヲ検案課ニ送ルヲ例トス寮中関
係ノ各課及ヒ頭又代理ノ巡閲検印了テ而
メ返還スル左返還ノ時日或ハ他ヘ送付スル
時ハ其由ヲ凹議件鉛簿ニ記スヘシ

但各寮ニ合議スルノ凹冊ハ各寮検印済
ノ上本寮ニ送付スルヲ則トス因テ他寮

局未タ検印ナキハ其旨ヲ付箋シ一旦還
付ス可シ

第二節

本寮各課ニ於テ立議スルトコロノ議冊受
付ノ順序前章ニ同シ而シテ卿輔決判済或
ハ正院制可ヲ得ルモノハ都テ寮頭ノ一覧
ニ供シ了テ主任ニ付スヘシ又至急時日ヲ
期スルノ件アリテ尋常受付ノ手ヲ経ルニ
遑アラサルモノハ専掌ノ課ニ於テ頭或ハ
代理ノ決判ヲ乞ヒ直ニ他ヘ回達スルモノ

アリ右様ノ類ハ擔當者ヨリ其旨ヲ通知演達スルコトナリ當課之ヲ回議發遣簿ニ記載シ他日ノ考證ニ備フ

但前ノ如キ至急ノ件ニテ各察局ノモノ自ラ持参シテ検印ヲ要スルモノハ當課ニ関渉セス

第三節

本省ヨリ内務省ヘ合議スルモノ或ハ同省ヨリ當省ヘ合評スル議件両省卿輔名ヲ署スルモノハ甲省卿輔調印ノ上乙省ニ回致ス或ハ甲省卿輔名ヲ署スト雖モ乙省ハ唯察局名ノミノ分ハ主任察局ノミ調印ノ上他察局ニ送致ス若其回議甲乙省中數察局ニ関スルモノハ諸察局調印ノ後本察ニ付スルヲ則トスレハ未タ調印ナキ察局アルトキハ其旨付箋シ一旦主任ヘ還付スヘシ

第四節

諸回附中傳票ヲ要スルモノハ必要傳票ノ印ヲ押テ之ヲ送致スレハ當課之ヲ件銘簿ヘ件銘共出納金穀ノ員數ヲ詳記シ而テ後

四成算課ニ送付ス

但内務省ヨリ指令セシ傳票ヲ要スル件ハ同省達書ニ前議ヲ添付シ本省往復課ヲ經テ當省ニ傳致スル第一類定規アル者通知ノミノ達書ハ直ニ第一成算課ニ送付スル可シ

第五節

準備金穀ノ傳票達書ハ國債寮ニ於テ帳記済ノ割印ヲ捺スルコトスレハ内務省ヨリ回致スル分ハ本省往復課ニテモヲ受ケ當用ト準備トヲ區分シ準備ヨリ支出或ハ収入スル等ハ同課ヨリ國債寮ニ回付ス同寮帳記済割印ノ上當寮ヘ送致スルヲ則トス若シ割印ナキ分ハ其旨ヲ付箋シ一旦件徒課ニ返致ス可シ

第六節

凡ソ諸布告布達ノ類回達送致シ来ルアレハ件名番号ヲ記載シテ速ニ編輯課ニ送ル同課鳥済小印ヲ押シモヲ返付スレハ其筋所ニ由リテ送達ス其刊行ニ係ル布告布達

新聞誌等ノ類ハ直ニ編輯課ニ送リテ編纂
セシム

第五條

受付ノ順序ヲシテ錯雑ナカラシムル為メ類別
ノ件銘簿ヲ設ケ及ヒ簿冊済否ノ簡明表ヲ製シ
事務推問ノ為メ他ノ官員呼出シノ手續ヲナス
事

第一節

凡ソ當課ノ緊務タル各方ヨリ送致傳達ス
ルトコロノ百般ノ簿書冊子ヲ一々未往ヲ
明瞭ニシテ渋滞埋没ナカラシムルニアリ
故ニ類別ノ件銘簿ヲ製シテ詳細銘記シ又
時々之ヲ翻閲シテ目存心記スルヲ要スヘ
シ其目左ノ如シ

一院省使察受付簿

一同精算帳受付簿

一府縣申牒受付簿

一突合往復簿

一各寮局課回議受付簿

一本寮回議発遣簿

一諸達物往復

一要傳票件名　附内務

第二節

各課掛當ノ書類毎一ヶ月出入明細ヲ記載シタル處務月報ヲ作リ月末ニ至リ當課ニ送致ス當課之ヲ本帳ヘ照合シ達済約置返戻等ノ印ヲ捺シ以テ既済未済ノ別ヲ詳ニシ簡明表ヲ製シテ寮頭ニ上シ其検照ニ供スヘシ

第三節

事務管主ノモノ諮詢推究ノ為メ府縣出張所ノ官員ヲ直ニ本寮ヘ呼出スコアルトキハ則管主ノモノ呼出状ヲ作リ之ヲ府縣徴召簿ニ記シ自ラ捺印シ課長ノ検印ヲ經テ後當課ニ由テ通達セシム府縣ノ官員出頭先ツ當課ニ未レハ其主務ノ課ヲ指示スヘシ其喚出状ノ書式左ノ如シ

申談儀有之候間明後日午前何時検査寮ヘ出頭其課ニ可

被申出候也

月　日　　検査頭

各府縣

廳中

但前同様ノ節ニテ他ノ官省ノ官員ヲ喚出スモ呼出書式ハ豫メ例定ナシト雖モ當課ヲ經由スル順序ハ皆前ニ同シ

大蔵省

雛形　回議簡明表

表明簡議回分月年治明

課察	前月残	当月受	合計	既済	返戻	未済	
租税							検査察
民幣							
出納							
統計							
記録							
國債							
内外債							
用度							
総計							

表明簡議回省務内月年治明

課察司	前月残	当月受	合計	既済	返戻	未済	
勧業							検査察
警保							
土本							
戸籍							
地理							
測量							
庶務							
主計							
総計							

表明簡濟未濟況

廳名	前月残	当月受	合計	既済	還付	約置	未済
正院							
左院							
外務							
内務							
大蔵							
陸軍							
海軍							
文部							
教部							
工部							
司法							
宮内							
開拓							
博覧							
総計							

明治　年　月院省庁府県未済簡明表

未済表調査

院省使	票調
	料合
	前月残
	合計
	既済
	未済
	速切
	回調
府県	推問
	同上前残
	合計
	既済
	未済
	速布
	回調

検査表

明治年月分府縣申牒

府縣							
月							
月							
合計							
既濟							
返戻							
納置							
未濟							

檢栞課處務順序

檢案課處務順序

第一節

金穀出納ニ関スル議案冊子ハ総テ之ヲ検閲シ規ニ照シ例ヲ追ヒ孰視審案シテ其當否ヲ判スヘシ

第二節

各回議ハ其事由原因ヲ考究審案シテ立意至当規格ニ違戻ナキハ検印ヲ捺シ他課ニ関渉ナキハ直ニ察頭ニ出スヘシ

第三節

水火災ノ救助拝借米金等其額相當ナルハ議案
初行ノ上ニ合規ノ印ヲ捺シ第三或ハ第四成算
課ニ送付スヘシ

第四節

各曲議ノ條件若クハ規ニ違ヒ事理其當ヲ得サ
ルモノアレハ意見ヲ付箋ニ陳述シ課長調印ノ
上之ヲ寮頭ニ出ス或ハ寮頭ノ意ヲ兼ケ直ニ各
主任ニ就テ推敲辨論スル事アルヘシ

第五節

事理錯雜其主意了解シ難キカ或ハ事両端ニ渉
ルノ疑件又ハ前議ヲ要スルノ類ニシテ一時検
案シ難キモノハ直ニ主任ニ質問シ推究照會シ
テ明亮ナラシム可シ

第六節

凡曲案議冊ヲ閲シテ其當否ヲ審案スルハ不待
言ト雖モ全數交付ノ件或ハ數項ヲ計算スルノ
類又ハ其事細目ニ渉リ算ヲ正スノ間ニ非レハ
若クハ成規ニ抵觸セサルヲ不保故ニ右等ノ件
ハ先其立意ヲ検視シテ後各種ヲ類別シテ成算
各課ニ曲付ス可シ

第七部

各課ニ于渉ノ面議ハ其課号ノ小印ヲ捺シテ送付スル其條款左ノ如シ

第一成算課ニ面付スル者

一院省使府縣各定額金ニ関係ノ件

一常費金及補亡費不足ニ付交付ノ件

一概費及ヒ豫備ヲ以テ操替ノ件

一家祿扶助米渡方ノ件（家祿奉還ノ議ハ面送ニ不及）

一月給旅費手当等ニ関係ノ件

一官員増減ノ件

一外國関係ノ件

一官國幣社ノ費用及ヒ天長節新年宴會等ノ酒饌料其他総テ定額アル件

第二成算課ニ面付スル者

一臨時金穀出納ノ儀ニ付他日勘定帳ヲ調査スルニ関係ノ件

第三成算課ニ面付スル者

一府縣定額金更正ノ件

一豫備ヲ以テ繰替金數項ニシテ算ヲ要スル者或ハ成算帳ヲ以テ申請ノ件

一概費ニ関係ノ件

一定額中ニテ仕拂フ可キ費用ヲ別途渡方ノ件

一臨時拂ニ立ツ可キ費用ヲ定額ニテ取賄ノ件

一甲年勘定ニ仕上ヘキ廉ヲ乙年ニ組入ノ件

一月給旅費其他ノ諸費定則外特別ヲ許容ノ件

一常費中府縣限リノ規則設立ノ件

但常費外ト雖モ懲役場ノ如キハ同様タル可シ

一常費充臨時費共総テ勘定仕上ニ付異例ノ件

第四成算課ニ送付スル者

一傳票ヲ要スル件

一常額其他見込渡正算帳府縣勘定帳概費及ヒ常費不足下渡ニ付仕拂明細帳ニ準傚ヲ以テ繰替ノ分勘定帳ヲ以テ請取方申立ル等ヲ除クノ外計算ニ屬スル一切ノ件

第八節

後證ヲ要スルノ件ハ其全文或ハ其要旨ヲ摘記
シテ課中ニ備ヘ他日ノ照會ニ供スヘシ

第九節

各議案中例規ト為ル可キ條件或ハ本寮異議ア
ツテ意見ヲ陳述セル付箋ノ終上達スル件又ハ
本省ニテ本議ノ決不決ヲ必セサル件等追テ必
需ヲ要スル者ハ寮頭名ノ上ニ要再面ノ印ヲ捺
シ検字ノ小印ヲ加押スヘシ此議冊面議済ノ上
主任ヨリ再ヒ送致スルハ之ヲ編輯課ニ付シ謄
寫セシメテ後字済ノ印ヲ押シテ返付スヘシ

但内務省ヨリ送致スル面議モ亦同シ

第十節

金穀出納ニ関スル條件従前一定ノ成規ナキ者
或ハ類例アリト雖モ別ニ本寮意見アル者等ハ
時トシテ寮頭ノ意ヲ美ケシカ議案ヲ草スル事
アル可シ

諸務課処務順序

諸務課處務順序

第一條

本寮必需之諸物品ヲ收取管理シ及ヒ修補營繕ノ事務ヲ執理措置スル事

第一節

本寮ニテ通常所用ノ紙筆墨朱ヂ一切ノ諸物品ハ豫メ受取帳ヲ製シ其受取ベキ品類ヲ記載シ管主ノモノ押印ノ上課長ノ捺印ヲ經テ本省用度課ニ付シテ收受スヘシ連月十ノ日ニ現品ノ多寡ヲ計リ受取置ヲ例ト

又毎一月物品受拂帳ヲ作リ前ニ受取ト
コロノ品物ノ過不足ヲ算計シ拂切高ト残
品ホノ部分ヲ詳細ニ記シ管主ノ者及ヒ課
長捺印ノ上寮頭之奥書捺印ヲ請ケ而ノ仁
輔ニ上ス

第二節

右交番トコロノ物品ハ本課於テ之ヲ儲蓄
受取シ各課諸負ノ必需ヲ待テ供給ス通者
之ヲ称シテ跡接整置シ散失ナカラシムル
ヲ要ス

第三節

本寮内外之修補営繕及ヒ器物ノ類ヲ製調
スルヤハ其趣旨ヲ具状セル面議ヲ作リ課
長押印ノ上寮頭ニ出シ検印ヲ請ケ而卿輔
ノ許可ヲ経テ本省用度課ニ達シテ受取セ
シム且寮中常用ノ物品机案椅子書籠文箱
ホノ修補ニ至テモ同様用度課ニ報シテ毎
理セシム

第四条

本寮ニ新任ノ人アルヤハ筆硯墨朱錐小刀

ノ類ヨリ業務特ニ必要ト認ムルモノヲ支給スルコト

但受取ノ手続ハ別ニ之ヲ定ム

第二條

寮中諸官員之月給旅費其他一切之諸雑給ヲ支給スル事

第一節

寮中官員月給ハ毎月十七日ニ給与スルヲ例トス故ニ女期前ニ新任辞免或ハ帰省病若ハ詳悉取調置キ月給仕出書ヲ作リ率四

成業課ニ回付シ正業ヲ経了テ寮頭之捺印ヲ請ヒ本省用度課ニ送致ス扨同課ヨリ應付ノ日限ヲ部報知スレハ甲乙月給受取帳ニ総計金員ヲ録シ頭又ハ代理ノ調印及ヒ本寮ノ印章ヲ捺シ同課ヨリ受取トコロノ証券ヲ銀行ニ付シ現品収取ノ上各員ニ分賦シテ月給捺證録ニ押印ヲ為サシム

但妻任以上月給税ハ本人ニ供給スル月俸ノ内ヨリ前以税額ヲ引去之ヲ銀行ニ相回シ證券ヲ製セシノラ用度課ニ納付

ス而ノ回課ヨリ渡ス可ノ請求書ヲ各負ニ

附ス

第二節

官員旅費支給ハ先ツ本人ヨリ見込書ヲ本課ニ出サシメ依テ旅行巡回滞在ノ日数及ヒ海陸里程ヲ測算シ定則ニ照査シテ仮渡仕出書ヲ作リ第四成算課ニ付シ正算ヲ経了テ案頭之按印ヲ請ケ本省用度課ニ送致シ収受ノ順序前条ノ如シ尤帰京ノ上精算仕上ヲ調製シ第四成算課ニ付シ過不足受納ノ手続ヲ為ス可シ

第三節

官員解免ノ節満年賜金支給ハ履歴短冊ニ依テ奉職年月ヲ計算シ周年以上ナレハ履歴ヲ記載シタル仕出書ヲ作リ第四成課ニ付ス可シ収受ノ順序ハ津ニ前章ニ同シケレハ之ヲ略ス

第四節

月上帰国旅費支給ハ本人ノ所願出張所詰官員ヨリ本人願書ニ添書ヲ以申請スルヲ

例トス然ル後里程日數ヲ調査シ規格ニ照シテ仕出書ヲ調シ第四號課ニ付ス收受ノ順序竝亦前節ニ同シ

第三條

寮中各員之身上ニ係ル一切ノ願請申報ノ類ヲ稟啓傳達スル事

第一節

官員辭職歸省忌服轉居其他一切ノ身上ニ關スル稟請申報ノ類ハ副書ト共ニ之ヲ課長ニ差出シ課長檢印ノ上本課ニ付ス可シ

本課ニ於テ其趣ヲ日記ニ錄シ了テ直ニ寮頭ニ差出ス卿輔ノ許可ヲ仰クヘキモノハ寮頭ノ中請ヲ添テ本省職務課ニ送付ス卿輔決裁濟ノ傳達アレハ又寮頭ノ命ヲ請テ其旨ヲ本人ニ通達ス

第二節

官員所勞引籠ハ届書ニ其課長檢印ノ上本課ニ送致ス可シ本課直ニ之ヲ寮頭ニ上ス尤七日ヲ經テ出勤セサルモノハ頭ノ副書ヲ添テ本省職務課ヨリ卿輔ニ届出ス其在

其時日ヲ経ルモノハ例規ニ據リテ其趣ヲ
寮頭ニ申告シ頭ノ指揮ヲ請テ處分措置ス
ルヿヲ為ス可シ

第三節

新ニ本寮ニ拝命スルモノハ実印ト印鑑
ヲ徴ス可シ遺失又ハ磨滅ホニテ改造ス
ルヿハ更ニ其旨ヲ届出サシム可シ

第四節

本省ノ印鑑ハ新ニ拝命スル者ニ一枚ヲ付
ス其番号及月日ヲ簿記シテ調印セシメ補
任免職等ハ速納ノ後ニ至テ消印セシム可
シ

第四條

寮印及鍵鑰ヲ掌管シ公信往復之事ヲ主リ寮員
ノ勤休表ヲ製シ宿直順ヲ定ル等其他寮中一切
之雑務ヲ調理斧給スル事

第一節

本寮ノ印章ハ本課ニ於テ之ヲ管理ス毎月
寮頭出勤スルアレハ頭ニ差出シ其押用ニ
供シ了テ還付スレハ又課中ニ領置シ退寮

ノ時ニ至レハ宿直ノモノニ托シテ保監セシム

第二節

本寮ニ備具スル御門鑰札本省印鑰并諸鍵鑰ノ類ハ本課之ヲ掌管ス鑰札ハ毎月日ヲ記シテ番数ヲ付シ事了テ逓納セシム且前件諸品ハ付属シ夜中吃時ノ使用ヲ為サシム

第三節

各所ニ往復ノ書信ハ事ノ緩急細大ニヨリ郵便又ハ電信ヲ以テ通達スヘシ此費用ハ課長ノ検印ヲ請ケ本省用度課ニ付シテ弁償セシム

第四節

在寮ノ官員日ニノ勤休ハ簿冊ヲ作リテ毎日之ニ押印セシメ一ケ年両回（春秋）勤休ノ日数ヲ総計シテ表ヲ製シ寮頭校閲ノ上卿輔ニ上スヘシ

第五節

寮中官員ノ履歴短冊ハ此課ニ於テ徴取ス
可シ新任ノ人アレハ二葉宛ヲ差出サシメ
李寮職員録ニ挿入スル而已ヲ編輯課ニ送
テ編纂セシムル
但職員録ハ当課之ヲ管理シ寮員之新任
轉免ヤノ節ハ入増損シテ常ニ差異ナカ
ラシム

第六節

寮中惣員ノ姓名ヲ添札ニ記署シ其分課ヲ
區分類別シ寮頭ノ席間ニ掲列シテ某ハ何

課誰ハ何撿タルヲ一目瞭知セシム其昇降
出張有暇皆ハ時ニ之ヲ交換改正シテ差
謬ナカラシムル可シ

第七節

寮中宿直ノ順次ヲ定メ簿冊ヲ作リテ之ヲ
記載シ又総名ヲ記セル小牌ヲ李寮ニ掲ケ
置キ其期日ヲ通観セシム可シ若新任轉免
ヤアリテ順次變換スレハ直ニ改置シ其旨
ヲ本人ニ報知スヘシ

第八節

諸官省各庁縣ノ長官ノ印影ヲ徴取シ印鑑帳ヲ作リテ挿入編纂シ置キ隨時各課照查ノ用ニ供スル可シ

第九節

本寮内外及ビ宿直所ニ至ル迫時々小使等ヲ指令督促シテ洒瀝掃除セシメ勉メテ乾潔清淨ナラシムルノ要又常ニ給仕ヲ使ヒ諸書ノ亂雜ヲ監視督責シ他時辰當ヲ測正シ頓セシノ本寮ノ體裁ヲ修正スルヲ必ト又可シ

編輯課處務順序

編集課處務順序

第一條

凡ソ布告達書ノ類其他庶中一切ノ文書帳簿ヲ管理スル事

第一節

太政官正院ノ布告達書及ヒ内務大藏其他各省使ヨリ布達ノ類本庶ヘ回達スル者ハ受付課ヨリ直ニ此課ニ付シテ受領者ノ印ヲ取ル此課ニ於テ隨時一通ヲ謄寫シ速ニ頭及ヒ各課ヘ傳致ス各課巡閲シ捺印ノ上

本課ニ還了スレハ乃チ其類ヲ分ツテ之ヲ
各記録ニ編入スヘシ
但廳中回達至急ノ者ハ速ニ順達シ其他
ハ二課一日ニ通覧シ日數四日間ニ必ス
廳中ヲ順達シ五日目ニ至リ本課ヘ返完
スヘシ

第二節

各廳局起案ノ回議巡覧ノ帖冊及ヒ訃官省
ヘ往復文書ノ類等各課要冊回ノ印ヲ押セ
シモノ決議済ノ後主任ヨリ再ヒ回致スレ
ハ則チ謄鳴鈔録シテ之ヲ分類編纂スヘシ

第三節

本廳各課ノ回議冊子其議院ニ決スルモノ
本省文書課受付往復ノ両掛ニ於テ其處分
ヲ完了スレハ直ニ之ヲ記録廳ニ送致シ原
書ハ同廳ニ収メ鳴シハ本廳ニ還付ス此課
之ヲ受クレハ則チ分類シテ各部ニ編纂ス
但海部分門スト雖モ其冊數ノ多少ニ随
ヒ或ハ之ヲ各冊ニ分チ或ハ各部合洗ス
ル等ハ妨ケ無シ尤モ本廳起案ノ議冊ハ

必ス別冊ニ編集シテ分類スヘシ

第四節

前章ニ掲ケシ編纂分類書目左ノ如シ以テ本廳各課ノ需用ニ供ス

一 顯賞　定額　常賞　臨時賞

一 褒賞　滿年賜金

一 俸米金　致祿　賞與米　月給

一 旅費

一 官員增減　一時雇

一 金穀出納　拝借　蓄積　倉庫　貸幣　上納

一 臨時支給　一時手当

一 済貧恤育　棄児

一 囚獄　徒刑

一 社寺　祭典　宮殿

一 學校　元生徒

一 制度規則　儀式

一 外國関係　條約　接待　居留　旅費給典　雇入

一 營繕　廳舎　土木　堤防　官代

一 開拓産業　鑛山　製造　勧農　分析

一 天災驛擾

一貢納

一陸運回漕

一戍兵還卒

一府縣金穀受納　豫備　明治六年前ノ分

一旅費規則

一俸祿規則

一滿年賜物規則

一囚人脫籍護送入費規則

一證券印紙規則

一常費回議　第一常備　明治七年後ノ分

海陸郵便　馬車　電信
鉄道

捕亡番兵　護送

一　豫備　臨時費　回議　第二常備　臨時支給　置県金　明治七年後ノ分

一預ケ米金回議　史官及ヒ左院應答

一正院伺

一正院達甫

一布告甫　元達甫

一省中達甫　各鎮台へ回達ノ類

一院省使鎮司府縣事務章程

一鎮中官員履歷

一本省上申　当鎮ヨリ本省へ建議スルノ類
但シ規則ト類例トヲ分ツ

一本省達甫　本省ヨリ当鎮へ特達ノ書類

第五節

凡ソ簿冊ノ部類ハ可成其類似スル者ヲ従セテ合冊トシ専ラ繕閲ニ便ニスト雖トモ大抵一事連絡シテ他日ノ照會ニ用アルモノ、如キハ別ニ書目ヲ設ケテ之ヲ一冊ニ収襲シ各冊ニ散在セシムヘカラス故ニ主任ノ課ニ托シ勉メテ一時ニ襲束送致スルヲ要ス即チ遣歐米大使又ハ遣清大使一行ノ

類ノ如キ旅費中ノ別類ニシテ倫敦商社破
潰一件ハ額費中ノ別類ナル是ナリ

第六節

暨中収藏スル所ノ書籍文簿ハ悉ク藏書出入帳
録ニ登記シ又別ニ件銘簿及ヒ藏書出入帳
ヲ製シ其借出還入スル所ノ者ヲ録ス尚シ
各課覧閲ヲ需ムルトキハ則チ件銘簿ニ就テ
之ヲ探リ其請求スル所ノ書銘ヲ日及ヒ名
字ヲ出入帳ニ記シ小印ヲ押サシメ之ヲ付
與ス可シ其返還スルモ亦同シ

第七節
覧閲ノ為メ貸出スル所ノ書冊ハ毎日退省
ノ前五十分迄ヲ限リ必ス原所ニ返却スヘ
シ若シ此時限ヲ過テ未タ看了セサレハ必
ス其旨ヲ報セシメ而シテ明日ヲ俟テ返完
セシムヘシ
但各課日々必用ノ書ニシテ主務ノ者毎
事検照スヘキモノハ其課ニ於テ之ヲ謄
写シ課中ニ備ヘ置クヘシ
第八節
史官編集局其他諸官省及ヒ各察ヨリ本寮
或ハ本省ヘ照管ニ来リ阮往現今ノ某事某
件ニ就テノ記録帳簿ノ類ヲ要需セル事ア
ルキハ則チ其関渉セル議案書冊往復文ノ
類ヲ各課ニ諮詢シ一切蒐聚整理シテ其索
ニ應スルハ此課ニ於テ之ヲ提掌ス
第二條
本寮處務ノ考課帖ヲ作リ及ヒ各課ノ都合ニ因
リ正院ヘ上申案或ハ各省使等ヘノ往復案ヲ淨
写スル事

第一節

本察ヨリ正院へ上申ス可キ件或ハ諸省向ヘノ注復達書等ハ総テ上局ノ校訂ヲ経ルノ後各課主務ノ者ヨリ其原案ヲ此課ニ付シテ浄寫セシム書成テ又案ト共ニ之ヲ主任ニ還付スヘシ主務辨理シ了リ再ヒ原案ヲ此課ニ送レハ之ヲ編入スヘシ

但浄寫ハ正副ノ二通ヲ書スルヲ則トス其定用罫紙ハ本省ノ定規ニ従フ

第二節

本察處務ノ考課状ヲ作リ記録察編纂課ノ校正ヲ俟テ之ヲ浄寫シ又其課ヘ送致スヘシ

右事務ヲ專任スル為メ左ノ四科ニ分ツ

一諸面議冊編集
　公文沿革取調
一考課帖
一往復花書籍出入取調
一当用寫字并銘簿

以上

第一成算課處務順序

第一成算課務順序

第一條

院省使各廳局要費定額ノ出納ヲ申請スルコアレハ定額ト成規トニ照シテ出納ノ順序ヲナス事

第一節

常額金ハ一歳ノ全額ヲ十二ケ月ニ分割シ毎月之ヲ交付ス其毎月分賦ノ金員ハ四位ニ止メ而シテ戔以下ノ少數ハ十二月ニ至リ一総共計シテ之ヲ交付ス

第二節

開拓使常額ハ其年ノ全額ヲ折半シ二月ハ
月両度ニ半額ツヽヲ交付ス

第三節

常額金ハ甲月ノ精算帳乙月二十日ヲ限リ
本省ニ回送シ乙月二十日以後ニ丙月ノ常
額金ヲ交付スルヲ則トス若シ期日ニ至リ
テモ精算帳ヲ回送スルコトナケレハ之ヲ督
促シ回送スルヲ待テ丙月ノ常額金ヲ交付
ス

但開拓使精算帳ハ毎三ケ月差出スヲ則
トス

第四節

常額金ノ交付ヲ申請スルノ公文ヲ受付課
ヨリ送致スレハ先ツ本額ニ査照シ其月ノ
額重復或ハ前月分渡方脱漏等無キヤヲ調
査シ甲月消費ノ精算帳回送ノ有無ヲ受付
課ニ質問シ申請ノ額相当ニシテ精算帳モ
既ニ回送セシモノハ其公文ヘ調査ノ印ニ
捺シテ寮頭ノ検印ヲ受ケ金高貳万円洋銀

高壱万弗以上ナレハ出納寮ニ回議ス準備金ヨリ支出スル常額ハ國債寮ヘ回議ス回議了テ其公文ト共ニ詰戻方達書ヲ付シ来ルモノハ乃チ其渡ス可キ金額ヲ定額金渡帳ニ記シ其公文ト受取方達書トヲ束テ第四成箕課ニ付シ傳票ノ順序ヲナス若シ公文ヲミニテ詰戻方達書ヲ付シ来ラサルモノハ則チ差出ス可シトノ達書（常用紙ヲ用ユ）ヘ其公文ノ金高ヲ書シ公文ト達書トノ金員ヘ察頭押切印ヲナシ其達書ヲ申請セル官廳ヘ

受付課ヨリ傳達セシム主任ノ官廳詰戻方達書ヲ回送スレハ当課之ヲ受ケ其渡スヘキ金額ヲ定額金渡帳ニ記シ了テ傳票ノ順序ヲナス若シ其差謬アルカ又甲月ノ精算帳未タ差出サヽルモノハ其由ヲ回答案ヲ具シ意頭ノ検印ヲ受ケ卿輔或ハ察頭ノ名ヲ以テ之ヲ其官廳ヘ督促シ又ハ其申請ヲ返却ス可シ其回答書等ハ受付課ヨリ傳致セシム

第五節

事務ノ緩急ニ因リ乙月ノ額ヲ甲月二十日
以前ニ支給スルヲ得ルモノトス其許可ヲ得ルモノハ第四
節ノ順序ニ據テ交付スヘシ

第六節

定額金交付ノ順序総テ前段ノ如シト雖モ
或ハ其事由ニ由リ考案ヲ具シ卿輔ノ決裁
ヲ経テ其由議册ニ 要傳票 ノ印ヲ請テ傳票
ノ順序ヲ為スコアルヘシ

第二條

各府縣定額或ハ常費豫備概費ノ出納ヲ申請ス
ルコアレハ定額ト成規トニ照シテ出納ノ順序
ヲ為ス事

第一節

三府及ヒ開港場アル縣々ノ定額金ハ東京
府ハ毎一ヶ月京都大坂ノ両府神奈川兵庫
新潟長崎ノ四縣ハ毎三ヶ月ニ支給ス精算
帳モ亦同シク東京府ハ毎一ヶ月其他ハ毎
三ヶ月ニ上帳スルヲ則トス其金額交付ノ
順序ニ至テハ各官省号額金交付ノ順序ト

大同少異ナレハ爰ニ贅セス

第二節

各縣常費概費等ノ支給ハ本年ノ分ヲ前年十一月十五日迄ニ申請シ其半額ハ前年二月中ニ交付シ残半額ハ本年六月ニ至テ交付スルヲ則トス今其費途ヲ類別スル左ノ如シ

第一類

一常費

一捕亡費

一豫備

一到任官月俸

一牢醫手当

右ハ各其定額ニ照査シテ支給スルモノトス

第二類

一奏任官月俸

一官員宿代

右ハ各其現員ニ應シ定規ニ照査シテ支給スルモノトス

第三類

一増官員月俸

一褒賞扶持米

一官國幣社神官月俸

一官林寺給米　一戸長給料
一棄児養育米　一老幼扶助米
右ハ成規ト許可トニ照査シテ支給ス

第四類
一囚獄人飯米
一禁錮人懲役人飯米及ヒ費用金
右ハ人員ニ應シ例格ニ照シテ當否ヲ判ス
尤懲役場ノ要費ハ懲役人雇口錢ト凡差引ヲ立テ全ク不足ノ概数ヲ交付スルノ成規ナリ

右ノ類一々精密ニ調査ヲ遂ケ差謬ナキヲ保シテ其金員ヲ一総共計シ預備ハ前年ノ額ヲ差繼キ其他ノ金員ヲ再計シ其半額ヲ交付スルノ指令案ヲ具シ第三第四ノ成箕課ニ回送シ預ケ金米ノ内ヲ以テ交付スルモノハ出納寮ニ回議頭及ヒ卿輔ノ決判ヲ請ケ其回議冊ト申請書トヲ受付課ニ付シ指令傳達ノ上回議冊ハ当課ニ返送ス当課ノ一員之ヲ受ケ交付ノ金員ト事由トヲ経費出納帳ニ詳記シ回議冊ト経費出納帳トノ金員ニ調査ノ印ヲ押

切次ニ編輯課ニ付シ回議ヲ謄写セシメ了テ原書ハ本課ニ返送ス前ノ一負之ヲ受領シ追テ主任ヨリ受取方申出次第回議冊ニ

乘傳票

ノ印ヲ請ケ第四成箕課ニ付シ傳票ノ順序ヲナス

第三節

本年六月ニ至リ後半額ノ交付ヲ申請スルアレハ第二節ニ照準調査ノ上前半額支給ノ回議書ト精密ニ照合シテ謬誤ナキモノハ交付スヘキノ指令案ヲ具シ傳票ノ順序ヲ為スコト前ノ如シ

第四節

申請書中若シ成規ニ抵觸スルカ或ハ金額ニ差違アレハ成規ト定額トニ因テ之ヲ整理シ其旨趣ヲ指令文中ニ明瞭記載スヘシ

第五節

各縣常費不足ヲ生シ其金員ノ支給ヲ請フキハ精箕帳及ヒ内譯帳第三成箕課ニ回送シ遣拂ノ当否ヲ調査スルヲ要ス同課調査濟其相当ナルヲ保シテ精箕帳ヲ当課ニ返

還スル此ニ於テ交付スルノ指令案ヲ具シ第
三第四成箕ノ二課ニ回議シ意頭及ヒ卿輔ノ
決判ヲ経ヘシ而シテ指令傳達及ヒ金員交
付ノ順序ニ至テハ第三節ニ同シ若シ精算
上不当ノ廉アレハ其旨ヲ指令案ニ書シ又
交付ノ金員ヲモ減省スル事アルヘシ

第三條

月給旅費其他一切ノ定額アル雑給ノ交付ヲ申
請スルコトアレハ定額ト成規トニ照シテ交付ノ
順序ヲナス事

第一節

定額アル雑給凡左ノ如シ

一月給及旅費　一留學資金
一外國派出ノ官員手当金
一御陵長守戸俸給
一各港税関官員服料
一官員宿代
一天長節紀元節新年宴會賜饌料
一官國幣社祭典神饌料
一官員免職ノ節滿年賜金

一宮方吉凶ノ節被下金
一三子出産ノ節手当金
一棄児養育米　一幼老扶助米
一水火災救助米　一禁錮人及囚人賄料
右雑給ノ中各廳常額中ヨリ支給スルモノアリ概貫ノ内ヘ交付スルモノアリ豫備ノ内ヲ以テ繰替置キ追テ請取方ヲ申出ルアリ或ハ時々之ヲ請求スルアリ時々請求スルモノ交付ノ順序第二節ノ如シ

第一節ニ掲ケル諸費ノ交付ヲ申請スルアレハ成規定額ニ照査シテ差謬ナキモノハ其申請ニ調査ノ印ヲ押シ廳頭ノ検印ヲ請ケ各其帳簿ニ就テ交付ノ金員ヲ記シ而メ受取方達書ヲ出サシムル等ノ順序ハ各官省定額金渡方第四節ノ順序ニ拠ル可シ若シ差謬アルモノハ其由由各案或ハ指令案ヲ具シ廳頭ノ決判ヲ請ケ主任ノ官廳ヘ達ス可シ

第三節

月給旅費其他定額アル雑給ヲ交付スルノ順序ハ第二節ノ如シト雖モ其事由ニ因リ考案ヲ具シ卿輔ノ決裁ヲ経テ直ニ其回議冊ニ［傳票］ノ押印ヲ請ヒ第四成業課ニ付シ傳票ノ順序ニ着カシムル事アルヘシ

第四條

外國派出我公使領事館在勤ノ官員月俸旅費支度手当用意金等ヲ交付ノ順序ヲ為ス事

第一節

公使領事館在勤ヲ命セラレ発朝前支給ス

可キ費用ノ目ヲ掲ル左ノ如シ

一月俸　一支度金

一在勤手当金　一郵船瀛車賃

右ノ外用意金等ハ臨時正院ノ許可ヲ経ルニ非サレハ支給スルヲ得ス其他使節ヲ派遣セラルヽ等ニハ定則ノ日当ヲ止メ月手当等ヲ給ルヿアルヘシ何レモ正院ノ許可ニヨル

第二節

外國派出我公使領事館在勤ノ官員月俸及

ヒ手当金ト雖モ六ケ月分ヲ、一月ヨリ六月マデ
支給スルヲ則トス　七月ヨリ十二月マデ

第三節

第一節第二節ノ金員交付ヲ申請スルアレ
ハ正院ノ許可及ヒ成規ト定額トニ拠リテ
当否ヲ審査シ相当ナルモノハ考案ヲ具シ
察頭及ヒ卿輔ノ決裁ヲ請ヒ交付ノ金員ヲ
検證録ニ詳記シ次要傳票ノ押印ヲ請ケ第
曲成簿ニ付シ傳票ノ順序ヲナス、若シ謬
誤アルモノハ其省ノ回答案ヲ具シ返達ス

ルヲ前ニ同シ
但尋常定額アルモノハ諮査ノ上其申請
書ニ諮査ノ印ヲ捺シ察頭ノ決判ヲ請ケ
請取方達書ヲ出サシメ達書ヲ出サシム
ル（省略額交付ノ序第四節ニ悉シ）順序各官
證録ニ記シテ申請書ト共ニ第四成簿
課ニ付シ傳票ノ順序ヲナス、

第五條

各府縣預備金ヲ以テ操脩置ケル費用交付ノ順
序ヲナス事

第一節

各府縣豫備金ヲ以テ操替置ケル費用ハ毎
三ヶ月総計シテ請求スルヲ則トス豫備金
ヲ以テ操替ヘキ費用ノ目ヲ掲クルモノ左
ノ如シ

一金高一百円未満ノ費用ニテ許可ヲ経ル
モノ（豫備金ヲ以テ操替ノ儀ヲ指令セシモノ也）

一神官旅費

一水火ノ災ニ罹リ目下凍餒ニ迫ルモノ一
時救助米代

一天長節紀元節新年宴會賜饌料
但三府ノ外向ハ此例ニ非ス

一官員免職ノ節滿年賜金
但三府函港ノ如キ定額金ヲ以テ支給
スル向ハ此例ニ非ス

一管外出行旅費
但同上

一囚人府縣送リノ節囚人ニ属スル費用

一右ノ外臨時操替ノ儀許可ヲ経ルモノ

第二節

第一節ニ掲クル費用ノ支給ヲ申請スルア
レハ成規及豫備金操替帳ニ照査シテ差謬
ナキモノハ交付スヘキノ文案ヲ作リ廳頭
及ニ卿輔ノ検印ヲ請ケ指令傳達ノ上豫備
金操替帳ニ就テ交付スヘキ件名ヘ何月何
日 渡濟 ノ印ヲ押シ次ニ府縣經費出納帳ヘ
渡高ヲ記シ同議册ト出納帳トノ金員ニ 調査
ノ印ヲ押切次ニ編集課ニ付シ同議ヲ謄寫
セシメ謄寫了テ當課ヘ返ス其同議册ハ

當課ニ止メ置他日受取方申出次第 要傳票
ノ印ヲ請ケ第四成業課ニ付シ傳票ノ順序
ヲナス若シ差違錯誤アルモノハ主任ニ推
問シ更ニ調整セシメ或ハ差謬ノ廉ハ當課
ニ於テ之ヲ整理シ其由ヲ指令ニ詳記シ前
顯ノ順序ニ從テ交付スルコトアルヘシ

第三節

内務省ニ於テ水火災救助及ヒ孝子義僕ノ
賞賜等豫備ヲ以テ操替置ク可キ旨ヲ指令
セシモノハ其旨本省ヘ通知スルヲ則トス

其通知書ハ当課之ヲ受ケ賓頭ノ一閲ニ供シテ豫備操替帳ニ金員ト事由トヲ記シ通知書ハ当課ニ止メ回議原書ハ調査ノ印ヲ押シ内務省ヘ返還ス

但成規アルモノハ其成規ニ因テ回議原書ヲ調査シ若シ差謬アレハ其旨内務省ヘ通達ス可シ

第六條

官國幣社ノ経費旧社領ノ半租ヲ以テ辨給セシ不足ヲ交付スルノ順序ヲナス事

第一節

官國幣各社ノ経費旧社領半租ヲ以テ弁給シ尚不足ヲ生シ之カ交付ヲ申請スルアレハ現費ノ当否ヲ調査シ相当ナルモノハ其金員ヲ交付スルノ指令案ヲ具シ第三成業課ヲ経テ賓頭ノ検印ヲ受ケ國債寮ニ回議シ卿輔ノ決裁ヲ経指令了レハ交付ノ金員ヲ府縣経費出納帳ニ記シ回議冊ト出納帳トノ金員ニ調査ノ印ヲ押切而シテ回議ヲ編輯課ニ送付シ謄寫セシム其餘ノ順序ハ

府縣常費等交付ノ順序第二節ニ異ナラス

第二節

若シ申請ノ金員過当ナリトセハ交付ノ金員ヲ減省シテ其旨指令案ヲ具シ察頭及ヒ卿輔ノ決裁ヲ請フヘシ

第七條

凡ソ定額金穀ニ関スル諸規則中曉解シ難キノ條アリテ質問照會スルハ之ヲ回答若クハ指令等便宜ノ考案ヲ作ル事

第一節

定額金穀及ヒ常費豫備概費月給旅費其他定額アル雑給等ニ関スル定規中若シ曉解シ難キノ條或ハ事両端ニ渉ルノ件アリテ決シ難キモノ、質問照會ヲ受ルアレハ其事端ヲ詳悉シ先規格例ニ照シテ回答書若クハ指令案ヲ作リ察頭ノ決判ヲ請ケ卿ノ名ヲ以テ回答指令スヘシ尤本察ヘ質問スルモノハ察頭ノ名ヲ以テ回答ス

第二節

第一節ニ掲ケル如ク質問照會スルノ際先

規例格ノ拠ル
法ヲ設立シ或ハ
セント欲スル
事理ヲ審案シ正院ヘ稟議及ヒ布達案等ヲ
具シ検案課ヲ経テ
回議
ス卿輔ノ決判ヲ経テ
ニテ正院ヘ進達シ其指揮ヲ待テ回答或ハ
指令スヘシ

第三節

第一第二節ニ掲ル類其他総テ全穀出納

ニ係ル條件従前一定ノ成規ナキモノ等ハ
議頭ノ指揮ニ依テ新ニ便宜ノ方法ヲ設立
シ議頭及ヒ卿輔ノ決裁ヲ経テ正院ヘ進達
スルヲ常ルヘシ

第八條

月給旅費ノ定額及ヒ其規則ヲ設立シ或ハ之ヲ
改正スル等ノ法案ヲ正院ヨリ本省ヘノ下議ニ
對シ之カ答議案ヲ作ル事

第一節

月給旅費等ノ定額及ヒ其規則ヲ設立シ或

ハ之ヲ改正スルノ法案ヲ正院ヨリ本省ヘ
下議スルアルアレハ当課之ヲ受ケ其当否
ヲ審査シテ妥当ナラサルモノハ其旨上答
案ヲ作リ検査課ヲ経テ鷲頭及ヒ卿輔ノ決
判ヲ受ケ其議案ヲ淳鳴シテ最前下付スル
所ノ法案ト共ニ正院ヘ返還セシム
但本文正院ヨリ下議スル法案ハ編集課
ニ於テ謄鳴セシメ答議ト共ニ毎一ヶ月
之ヲ同課ニ送付ス
第二節

正院ヨリ下議スル法案中妥当ナラサ
ルノ條或ハ実際ニ於テ支吾スルノ件アレ
ハ其意見ヲ答議ス尤其事由ニ因リ鷲頭ノ
旨ヲ受テ更ニ法案ヲ整理シテ正院ヘ上呈
スルコトアルヘシ
第九條
各廳ヨリ旅費支給適宜ノ方法ヲ設クル等ノ旨
ヲ届ケ出ルコトアレハ其当否ヲ審査シ若クハ指
令案ヲ作リ又ハ諸官員黜陟ノ達アレハ之ヲ回
覧ニ付シテ便宜編纂スル事

第一節
各廳ニ於テ旅費其他手当金等適宜方法ヲ
設ル類或ハ免官ノ輩ヘ滿年賜金ヲ付與シ
タル等ノ旨ヲ届出ルアレハ先ツ成規ニ例
ニ拠テ其当否ヲ審案シ可ナルモノハ第二
或ハ第三成箕課及ヒ検案課ヲ経寮頭及ヒ
卿輔ノ一閲ニ供シ了テ編輯課ニ送付ス尤
旅費手当金等ノ適宜方法ハ編輯課ヘ謄寫
セシメテ課中ノ簿冊ニ編入ス
第二節

前節ニ掲ケル所ノ届書中妥当ヲ得サルカ
又ハ例規ニ抵觸スルアレハ面呑書或ハ指
令案ヲ作リ検案課ヲ経テ寮頭及ヒ卿輔ノ
決判ヲ受ケ其旨趣ヲ答達スヘシ
第三節
各廳ヨリ官員免職黜陟ノ達アレハ寮頭ノ
一閲ニ供シ了テ他日照會ノ為メ課中簿冊
ニ編纂シ毎一ケ年之ヲ編集課ニ送付ス
第四節
各国派出我公使領事等任免黜陟ノ達ハ月

給旅費検證録ヘ其人名及ヒ進退ノ月日ヲ
詳記シ他日月給旅費等交付ノ際検閲ニ便
ナラシム

第五節

免職ノ者御用滞在命セラルヽノ達ハ御用
滞在人名録ヘ旧官及ヒ姓名等ヲ記ス可シ

第十條

以上各條ニ関スル曲議ヲ検閲シ及ヒ各條ニ関
スル諸規則類又ハ時々ノ曲否指令等総テ将来
規格トナルヘキモノハ常ニ課中ニ蒐輯シテ後
考ニ供スヘキ事

第一節

凡ソ定額金穀ヲ創定シ或ハ之ヲ改定スル
等及ヒ定額金穀ニ関スル諸規則ヲ設立シ
或ハ之ヲ更正スル等ノ曲議冊ヲ検案課ヨ
リ送致スルアレハ当課ニ於テモ之ヲ審査
シ意見アレハ其旨ヲ付箋シ再ヒ検案課ヲ
経テ寮頭ノ決判ヲ請ケ主任ニ返致ス

第二節

各府縣ヨリ請求スル費用豫備金ヲ以テ操

替置ヘキ旨指令スルノ曲議ハ総テ豫備金
操替帳ニ金員事由及ヒ月日等ヲ詳記シ其
曲議冊金員ノ側ニ調査ノ印ヲ押シ他ニ曲
送ス他日現ニ此費用ノ交付ヲ申請スルア
レハ裏ニ詳記セル金員ニ照査シテ支給ス
ルヲ則トス
但某ノ費用出途區分ノ稟議ニ對シ豫備
金ヨリ操替置追テ請取方可申出旨指令
スルモノハ其費用ノ名目指令ノ次第等
豫備操替帳ニ詳記スヘシ

第三節
外國派出公使以下旅費汽車賃其他共裏ニ
概計ヲ以テ交付セシモノ精算ノ上不足ヲ
生シ之ヲ納拂スルノ曲議アレハ其納拂ノ
金員ヲ検證錄ニ記シ畢テ他ニ曲送スヘシ

第四節
家祿賞典交付ノ曲議ハ各府縣經費出納帳
ヘ其金員ト事由トヲ記載スヘシ

第五節
各縣官員定員外臨時增官員ノ申請ハ内務

省ニ於テ許可ノ上其旨ヲ本省ヘ通知ス当課之ヲ受ケ窓頭ノ一閲ニ供シ了テ其許可ノ人員期限及ヒ事由ヲ増官員人員録ニ詳記シ達書ハ当課ニ止メ置キ他日此月俸ノ支給ヲ申請スルアレハ此簿冊ニ照會シテ支給スルヲ則トス

但内務省ニ於テ豫備ヲ以テ操替置ノ指令セシ通知ハ豫備金操替ノ費用支給ノ順序第三節ニ就テ見ルヘシ

第六節

前顕ノ外当課関係ノ事件ニ付送付セル各種ノ回議ハ定規成例ニ照査シテ可ナルモノハ検印シ不可ナルモノハ意見ヲ付シ検案課ニ按議シ窓頭ノ決判ヲ請ケ主任ヘ返送シ或ハ主任ニ至リ其当否ヲ論究スヘシ

第七節

凡ソ回議ノ内成規例格トナルヘキモノハ回議冊窓名ノ上ニ 要再回 ノ印ヲ押ス可シ此印アルモノハ回議了テ主任ヨリ其回議冊ヲ当窓ヘ再回ス然ルキハ之ヲ編集課

二付シ謄寫セシム且当課ニテモ謄寫綴纂
ノ上奏書ハ寫済ノ印ヲ押シテ主任ニ返送
ス

第八節

受付課ヨリ回致スル当課専掌ノ文書ハ其
件名番号月日元ニ管主ノ姓名等ヲ式ノ如
ク月報表ヘ記載スヘシ而シテ此月報ハ毎
一月受付課ヘ送付スヘシ

第九節

凡ソ当課ノ事務ヲ處スル定額アル金穀ヲ
始メ総テ右ニ係ル規則例格ヲ明ニスル最
要務メリ依テ左ノ簿冊ヲ編纂シテ調査ノ
用ニ供ス

一額費総録

一般ノ定額金穀ヲ総録ス

一定額摘要

定額金穀ニ関スル諸規則例規ヲ編纂
ス

一月給摘要

月給其他手当金等ニ関スル諸定則例

規ヲ編纂ス

一旅費摘要
旅費宿代等ニ関スル諸定則例規ヲ編纂ス

一正院御達留
正院ニ於テ各院省使府縣ヘ對シ金穀出納ヲ許可セシ旨本省ヘ下達スルノ外当課ニ関係ノ事件ヲ摠摘ス

一回議摘要
各察課回議書ノ内将来規格トナルヘキモノヲ摠摘ス

一豫備金摠計帳
各府縣ヘ對シ豫備金ノ内ヲ以テ摠計可仕旨指令セシ金員及ヒ事由等ヲ詳記ス

一増官員人員録
諸縣増官員人員及ヒ其事由ヲ録ス

一院省使定額金穀渡高帳
院省使定額金穀渡高ヲ記載ス

一外國公館在勤官員月給旅費検證録

外国公館在勤ノ官員月給旅費手当金用意金等交付ノ金員及ヒ人名ヲ録ス

一各府縣経費出納帳

各府縣定額金及ヒ常費豫備概費月給旅費等総テノ経費出納ノ金穀ヲ詳記ス

一御陵長守戸俸金渡帳

御陵長守戸人員及ヒ俸給ノ渡高等ヲ詳記ス

一雇外國人々名録

雇外国人々名及ヒ其給料等ヲ録ス

一留學生人名録

留學生人名并學資金等ヲ録ス

第二成算課處務順序

第二成算課處務順序

第一條

院省使局ノ勘定帳簿ヲ調査スル事

第一節

院省使局ノ勘定帳ハ先ツ簿冊調成ノ体裁ヲ検閲シ成規ノ雛形ニ照シテ差異ナキ片ハ之ヲ第四成算課ニ回付シ同課ニ於テハ前月ノ残高ト本月ノ渡高トヲ突合セ其金額差謬ナキヲ保テ成算突合ノ印ヲ押シ一旦本課ニ還送スヘシ是ニ於テ費用ノ當否及ヒ

計算ノ異同ヲ正理スヘシ収入勘定帳ト雖モ金員納付ノ分ハ第四成算課ノ照會ヲ要ス

第二節

常額ノ内外ニ不拘総テノ經費成規定例アルモノハ各種ノ規則或ハ其廳ノ例格ニ因テ照査シ例規ナクシテ全臨時ノ所分ニ出ルモノハ必ス其因故ヲ推究シテ當否ヲ辨明スヘシ

第三節

諸官員及ヒ一時雇ノ者月給旅費ノ類轉モスレハ重復支給ノ患アリ故ニ其明細表内譯ヲ精察照査シ苟モ差謬ナキヲ要ス可シ

第四節

諸經費ノ内私費ニ屬スヘキ者アルカ或ハ事理明晰ナラサルカ又ハ計算上差異アルキハ逐一詳細ニ附箋シ其廳ニ尋問ス可シ

第五節

前章ニ掲ケルカ如キ件アツテ各廳ニ推問スルニアルキハ其事ノ細大ニ因リ頭若クハ

卿輔ノ決議ヲ經テ通達スル事トス

但主任ノ官員ヲ呼出シ尋問スル代ハ其
吉ヲ課長ニ具陳シ徴召簿ニ検印ヲ得テ
後處分スヘシ

第六節

勘定帳内譯廉々明細表ニ照シ差異ナキ代
ハ(検)印ヲ捺シ合算差謬ナキハ(正)印ヲ押ス明
細表廉々規格ニ違戻セサルハ(検)印ヲ押シ
算數差謬ナキハ(正)印ヲ捺ス尤勘定帳ニ明
細表共合算ノ廉ノミ(正)印ニ主務ノ小印ヲ
加押ス可シ

第七節

諸簿冊數多ニシテ常ニ錯雑ヲ極メ整理上
ニ於テ差異ナキヲ保セス故ニ其廳名ヲ配
當シテ幾部ニ分テ各部擔任之ヲ調査スル
コトス然レ氏其事務ノ繁閑調査ノ都合ニ
因リ各部相互ニ助力スヘシ

第八節

院省甲月ノ勘定帳定規ノ如ク乙月廿日迄
ニ送致スレハ主務ノ部之ヲ受ケ丙月廿日

ヲ期トシテ整理スヘシ若シ事故アリテ期
ヲ過ルアラハ其由ヲ第一成業課ニ通知ス
ヘシ

但各國我公使館或ハ他方出張所等ニテ
定規ノ通リ勘定帳ヲ逓送スル能ハサル
モノモ又其送達ノ日ヨリ凡三十日ヲ以
テ調査ノ期限トス

第九節

兩招使勘定帳ハ三ヶ月仕上ヲ以テ其翌月
二十日迄ニ本廳ヲ差立ルヲ規トス然レ𪜈

遠隔ノ地頒メ到達ヲ期シ難シ因テ本寮ニ
達スルノ日ヨリ凡三十日ヲ以テ調査ノ期
限トス

第十節

諸勘定帳ヲ受付課ヨリ回致スレハ管主ノ
各部中便宜ヲ以テ先ツ專掌ノ者ヲ定メ其
簿名巻數番号月日等式ノ如ク月報表ニ記
載スヘシ若シ往復等ヲ要スルアルハ順次
細書ス此月報表ハ翌月五日迄ニ受付課ニ
送付スヘシ

第十一節

勘定帳簿ノ既ニ調理シ了ルモノハ其表面ニ頭助属ノ三字ヲ書シ専掌ノ者先ツ印ヲ捺シ巡閲ヲ経テ頭ニ出ス頭ニ出ス頭検印了ツテ全ク上帳トシ第三号決算済證書ヲ式ノ如ク製シ本寮勘合ノ印ヲ捺シ以テ此證書ヲ勘定帳ニ添ヘ再ヒ第四成算課ニ送達スヘシ

第十二節

調査済勘定帳ニ附属セシ書類及ヒ明細表ノ類ハ勘定帳調査済ノ上第五成算課ヘ送付ス若シ他日照會ヲ要スルトキハ同課若クハ統計寮ヨリ更ニ借覧スヘシ

但附属書及ヒ明細表等ハ一時本帳ト分別スト雖モ他日記録寮ニ到テ終ニ収束スルモノナレハ審ニ記号ヲ付シテ紛雑セサルヲ要ス

第十三節

臨時費用ノ請求或ハ其費用仕上済ヲモツテ請スルノ面議冊等他ノ寮局ヨリ傳致ス

ルヿハ其仕譯書アルハ前章ニ掲クル手續ヲ以テ調査シ差謬遺算ナキハ(正)印ヲ押シ帳簿ヲ添付セサルハ其當否ヲ審査シ該冊ニ檢印シテ第四成算課ニ送付スヘシ

第十四節

各察局并本察ノ面議ハ主務ノ部之ヲ受ケ其関係スル條款ヲ檢閲シ調印ノ上察頭又ハ他ノ課ニ送付スヘシ

但勘定帳調査ノ照會トナルヘキモノハ詳細謄寫シ以テ主務ノ部中ニ備フヘシ

第二條

院省使局ノ勘定帳定期ヲ過キ猶送致セサルハニヲ督促スル事

第一節

各廳勘定簿冊定期ヲ過キ未タ本察ニ送致セサルヿハ卿輔又ハ察頭ノ名ヲ以テ之ヲ督促シ延滯ナカラシムルノ要ス

第二節

勘定簿冊送致ノ有無ヲ知ル為メ各院省使ヨ分類セシ一冊子ヲ設ケ置キ時々此冊子

ヲ點検シ定規ニ至リ猶送致セサルハ前章
ノ手續ヲ以テ處分スヘシ

第三條

勘定仕上ニ関スル院省使局ノ稟議ニ對シ之カ
議案ヲ作ル事

第一節

各廳ヨリ勘定仕上ニ関スル事件ヲ本省ニ
照管スルカ又ハ直ニ本寮ニ尋問シ來ルト
キハ主務ノ部ニ於テ之カ答案ヲ草シ先ツ
検案課ヲ經テ後卿輔若クハ寮頭ノ決議ヲ

候テ回答ニヘシ

第二節

各廳定額并臨時費用ノ殘數ヲ還納シ或ハ
鑛山産出品濫車電信料其他税外ノ収入及
ヒ諸益金等総テ勘定仕上ヲ以テ納付ス可
キモノハ其勘定帳調査濟ノ上出納圀債両
寮所管ノ品類ヲ分別シ之カ回議案ヲ作リ
規則ニ隨テ納付ノ順序ヲ為スヘシ

第三号雛形

一

高米金何程ノ内

米金外何程

高米金外何程

内

米金外何程

検査頭ノ印勘定帳ト勘合ス

〇主務官員検印

証券何号

従前本紙ノ内返納米金ノ以仕紙ノ分

決算済

常額外

従前本紙ノ内返納米金ノ以仕紙ノ分

右于支何月中常額内外書面之通決算済候也

于支月日

大蔵長官印

長官宛

検査察割印

四面ニ紋章ヲ彫刻ス

用紙程村二ツ切

第三成算課處務順序

第三戸籍課處務順序

第一條

各府縣ヨリ送達スル勘定帳簿ヲ調整スル事

第一節

各府縣ヨリ勘定帳ヲ送付スレハ先ツ簿冊調成ノ体裁ヲ檢閲シ成規ノ雜收ニ照シテ差違ナキヤハ之ヲ第四戸籍課ヘ送付ス同課ニ於テハ之ヲ越高ト渡高トニ突合セ其金額差違ナキヲ保シテ戸籍突合ノ印ヲ押シ一旦本課ニ還付ス此ニ於テ其責ノ当否

及ヒ計算ノ異同ヲ正理スヘシ収入勘定帳ト雖モ金員納済ノ分ハ第四成算課ノ照會ヲ要ス

第二節

府縣一切ノ經費成規定例アルハ各種ノ規格ニ照シテ調査シ例規ナクシテ全ク臨時ノ所分ニ出ルモノハ必ス其因故ヲ究ムヘシ

第三節

諸費仕拂ノ内成規ニ照合セス其原由ナキ當否ヲ弁知スヘシ

第四節

諸官員及ヒ一時雇ノ者月給旅費ノ類重モスレハ重復支給ノ患アリ因テ其明細表内訳ヲ詳細ニ査照シ差異ナキヲ要スヘシ

第五節

勘定帳内訳簿々明細表ニ照シ差異ナキ時ハ㊞印ヲ捺シ合算差謬ナキハ㊞印ヲ押ス

モノ等速ニ改正セシムルハ不法言ト雖モ阮往ノ所置不得止モノハ事ノ軽重ニ因リ頭若クハ卿輔ノ決裁ヲ俟テ所分スヘシ

明細表廉々規格ニ違戻セサルハ㊞印ヲ押
ニ箕数差異ナキハ㊞印ヲ捺ス尤勘定帳
明細表トモ合冀ノ廉ノミ㊞印ニ主務ノ小
印ヲ加押スヘシ

第六節

諸府縣勘定帳簿冊ヲ整理スル為メ其府縣
名ヲ配当シテ四部ニ分チ各部擔任之ヲ調
査スル筆トス若シ累年ノ勘定帳輻輳シテ
整理上差支ヘルコトアレハ別ニ一部ヲ設
ケ旧勘定帳ヲ擔任調理セシム然レモ事務

ノ繁閑ニ随テ便宜交互助カスヘシ

第七節

諸勘定帳東京府ハ一ケ月仕上ヲ以テ乙月
廿日迄ニ差出シ京坂両府及ヒ諸縣ハ三ケ
月仕上ヲ定規トス故ニ其翌月廿日マテニ
各廳ヲ発スル事トス因テ到達ノ日ヨリ凡
三十日ヲ以テ調査ノ期限トス可シ事故ア
リテ期ヲ過クルハ此限ニ非ス

第八節

諸勘定簿冊ヲ受付課ヨリ回付スレハ管主

ノ部中先ツ専掌ノ者ヲ定メ其簿名巻数番
号月日等ヲ式ノ如リ月報表ニ記載シ若シ
往復等ヲ要スルアルハ順次細記ス此月報
表ハ翌月五日迄ニ受付課ニ送付スヘシ

第九節

勘定帳及ヒ明細表等ヲ調査スルノ際其事
明晰ナラサルカ或ハ計算上差異アルキハ
出張官員ヲ呼出シ諮問ス可シ若シ其旨趣
容易ニ解シ難キモノハ詳細ノ付箋又ハ書
取ヲ以テ示諭スヘシ時宜ニ因リ窓頭ノ決

ヲ経テ直ニ本廳往復ノ手續ヲ為スヘシ
但シ出張官員ヲ呼出ス時ハ其事由ヲ課
長ニ具陳シ徴召簿ニ捺印ヲ得テ後達ス
ヘシ

第十節

定額概貴仕拂ノ内家禄賞典禄ハ国債寮員
禾川下賃ハ租税寮ヘ照管シ其他成規アル
ハ規則ニ照シ又ハ其府縣ノ例格ニ拠リテ
調査スヘシ

但定額諸費ノ内甲ノ費用ヲ乙ノ金額ニ

テ仕拂或ハ官民費ノ支出ヲ誤ルモノアレハ之ヲ改正シテ規則ニ違戻ナカラシムルヲ要ス

第十一節

臨時ノ費用豫備償還ノ廉ハ操替拂仕訳書ニ照合シ別途交付ノ條款ハ主任寮局ノ決議ニ拠テ其当否ヲ斡知スヘシ

第十二節

収入勘定帳ニ編入セシ條件中指令済ノモノハ其決議ニ照シ定例ノ収入或ハ通常ノ不用品拂代等ハ附屬明細表ニ拠リ調査スヘシ

第十三節

貸附金穀勘定帳ハ新規貸下并返納ノ金員ヲ先ツ第四成業課ニ突合セ而シテ後其事由年賦及ヒ従前ノ貸渡口々等ハ尽ク出納寮及ヒ国債寮ニ照管シ逐件主任ノ証印ヲ取テ其当否ヲ決スヘシ

第十四節

勘定帳簿ノ已ニ調査了リシモノハ其表面

二頭取属ノ三字ヲ書シ専掌ノ者ハ先ツ小
印ヲ押シ順次覧閲頭ニ出ス頭検印了ッテ
全ク上帳トシ第三号決算済証書ヲ式ノ如
ク製シ本寮勘合ノ印ヲ捺シ以テ此証書ヲ
勘定帳ニ添ヘ再ヒ第四成算課ニ送付スヘ
シ

第十五節

調査済勘定帳ニ附属セル書類及ヒ明細表
ノ類ハ勘定帳調査済ノ上第五成算課ヘ送
付スヘシ若シ他日照會ヲ要スルトキハ同課若

クハ統計寮ヨリ更ニ借覧スヘシ
但附属書及ヒ明細表等一時本帳ト分別
スト雖モ他日記録寮ニ至リ終収束スル
モノナレハ審ニ記号ヲ付シ紛雑セサ
ルヲ要ス

第十六節

臨時費用之内仕上済金穀ヲ請求スルノ面
議或ハ明細仕訳書ヲ以テ仕上済金穀ヲ請
求スルノ議冊等他ノ寮局ヨリ傳致スル時
ハ其仕訳書ハ前章ニ掲クル手續ヲ以

調査シ差謬違算ナキハ㊞字ノ印ヲ押シ帳
簿ヲ添付セサルモノハ其当否ヲ審査シ議
冊ニ検印シテ第四成算課ニ送付スヘシ

第十七節

各府縣ヨリ常費ノ不足ヲ申請スルトキハ
則チ第一成算課之ヲ受ケ遣拂精算帳ヲ本
課ニ傳送スレハ其当否ヲ精査シテ同課
ニ送付スヘシ同課議案ヲ付シテ再ニ回付スレ
ハ則チ摘記正シ議冊ニ検印シ第四成算課
ニ送付スヘシ

第十八節

各縣ヨリ其支辨ノ由諮ハ主務ノ部之ヲ受ケ
其関係スル條件ヲ検閲シ調印ノ上庶頭又
ハ他ノ課ニ送付スヘシ

但勘定帳調査ノ照會トナルヘキモノハ
詳細謄寫シ以テ主務ノ部中ニ備フヘシ

第二條

各府縣ノ勘定帳定規ヲ過キ猶送致セサルハ之
ヲ督促スル事

第一節

各府縣勘定帳一定ノ期限ヲ過キ未ダ送致
セサルトキハ卿輔又ハ廳頭ノ名ヲ以テ之
ヲ督促シ延滞ナカラシムルヲ要ス

第二節

勘定簿冊送致ノ有無ヲ知ル為メ各府縣ヲ
分別セシ一冊子ヲ設ケ時々此冊子ヲ点検
シ定規ニ到リ送致セサルアルハ前章ノ手
續ヲナスヘシ

第三條

勘定仕上ニ関スル各府縣ノ稟議ニ對シ之レカ

議案ヲ作ル事

第一節

各府縣ヨリ勘定仕上ニ関スル事件ヲ本省
ニ照管スルカ又ハ直ニ本廳ニ稟伺シ來ル
時ハ主務ノ部之ヲ受ケ其指令又ハ回答案
ヲ草シ先ツ檢案課ヲ經テ後卿輔若クハ廳
頭ノ決議ヲ俟テ處分スヘシ

第二節

各府縣定額其他諸費金ノ殘數ヲ還納シ或
ハ計出不足又ハ懲役傭工錢ナアリテ納付ス

ルモノハ其仕訳書調査ノ上之レカ回議案ヲ作リ規則ニ随テ納付ノ順序ヲナスヘシ

第三号雛形　用紙程度ハ二ツ切

四面紋章ヲ彫刻ス

検査願ノ印鑑ト帳ト勘合ス
○主務官庁検印

證　第何號

高金何程之内

一　金何程

内　金何程

金何程

金何程

外　金何程

決算済

定額納

定額外納

納済

従前本納之内返納金未タ以テ仕神ノ分

右者干支何月ヨリ何月迄出納勘定書面之通決算相違無之候也

年號月日

長官宛

大蔵省長官印

検査察割印

第四成算課處務順序

第四成箕課處務順序

第一條

院省使及府縣収入支出ノ概計表ヲ調正スル事

第一節

院省及ヒ各府縣ヨリ送呈スル概計表ハ収入支出ノ概數ト既ニ収出スル実數トヲ簡明ニ表出シ會計ノ目途ヲ立ルモノニヲテ周年間五葉ヲ差出スモノトス其第一葉ハ一歳収支ノ概計ヲ遺脱ナク登記シ乙年ノ分ハ申年三月ヲ限リ差出スモノナリ第二

葉ハ第一葉ノ科目ニ就テ既ニ収支スル多寡ヲ比較登上シ猶一葉ノ目途ヨリ増減スル高ヲ掲クルモノニシテ第三葉ヨリ五葉ニ至ル迄其書式ニ於ル小異アルナシ但第三葉ハ十一月四葉ハ二月五葉ハ五月ヲ期シ差出スヘキモノナリ

第二節

概計表比較表ハ各廳ヨリ差出セハ本課ニ於テ之ヲ調査整理シ案跋ノ按印ヲ経テ卿輔ニ呈シ卿輔按印ノ後統計寮ニ送致スヘシ

第二章

第二條

一切出納金穀ノ計數ヲ明ニスル事

第一節

凡ソ各廳各課ノ回議ハ按察課又ハ其他各課ノ展閲ヲ経テ本課ニ付スルヲ則トス

但准備常用交換又ハ准備中第二類三類交換ノ回議ハ受付課ヨリ直ニ此課ニ回付ス

第二節

議按ヲ繕関スル先立按ノ当否ト収支金穀ノ常用ト準備トヲ恒例規則ニ照シテ審査シ其計數ヲ清査調算スヘシ

第三節

金穀ノ計數ヲ査覈スルハ規則（貨幣出納計算例則及四捨五入ノ法ヲ以金八重ニ止メ米ハ合ニ止ル等ノ類ニ隨ヒ之ヲ經算シ其差異アラサル者ハ金穀ノ數ヲ記載スル下面ニ（正）印ト（朱）専運スル者ノ按印トヲ捺シ以之ヲ係ス

第四節

百般収支ノ金額ハ必ス各種ノ品目ヲ区分スルヲ則トス故ニ収入金ハ渾テ何種何東都大阪横濱三所銀行ノ預リ場所ト支出金当用ヲ除クノ外具種類トヲ清査調議附上納達書等ヲ科目ヲ掲ケサルアレハ主務ニ付シテ記載セシムヘシ

但常用支出ハ傳票課ノ専理タルヘシ

第五節

凡議簿冊ノ既ニ清理ヲ經テ計數ノ差異ナキモノハ常用ヨリ支出スルハ（拂）納入スルハ（納）ノ印ヲ捺シ準備ヨリ収支スルハ（準備）

ノ印ヲ加押シテ以テ之ヲ支別ス可シ

第六節

各議按ノ立意規則ニ違フカ又ハ本課意見アルモノハ其旨ヲ付箋シ再ヒ按案課ヲ経テ察頭ニ出スヘシ

但一ト通貸數ノミ差異アルモノハ直ニ主務ニ通付シ覆案セシムヘシ

第七節

米穀ノ石代ヲ以収支スヘキハ右石代相場ヲ記載セル下面ニ㊞印ヲ押シ以其差異ナキヲ保スヘシ故ニ出納寮ヨリ回致スル毎一ケ月浅草倉廩ノ石代平均相場ト租税寮ヨリ送付スル各府縣ノ石代相場トハ常ニ其簿冊ニ就テ之ヲ謄寫シ以テ照會ニ備フヘシ

第八節

時々頒布スル計算ノ規則及ヒ各國貨幣ノ計算比較等都テ算勘ニ便ナル簿書記録ハ都テ課中ニ備フヘシ

第九節

各回議簿冊ノ他日照會ニ供スヘキモノハ
要再回 ノ印ニ正字ノ小印ヲ加押シ以テ本課
必需ノ目標トス此簿冊再ヒ回致シ来レハ
之ヲ編輯課ニ付シ謄寫セシメ要再回ノ印
ヲ塗抹シテ主務ニ返致スヘシ

第十節

院省使庁縣ノ勘定簿冊各縣置米金常備金
不足ノ分下渡方申請アルモノヽ該冊ハ第
二第三課豫備金操替ノ分ハ第一課ニテ謄
理シ其他ハ一切本課ノ専任タルヘシ

第十一節

一切金穀ノ出納ハ必ス卿輔ノ決判アルヲ
常見トス然レトモ月給旅費宿代及ヒ院省使
常額金拂借返納等ノ類成規確定アルモノ
ニシテ別ニ事故ナキハ察頭ノ捺印アルヲ
證シ其出入ヲ計ナスシ

第十二節

各回議簿冊ヲ調整スルハ三日ヲ限リ完
結シテ頭ニ出スヲ則トス然レトモ大部ノ冊
子或ハ調査上疑難アリテ三日ヲ越ヘ結成

シ難キモノハ其旨ヲ願ニ申スヘシ

第十三節

収納金穀ノ内地券其他諸税ノ如キハ組税
察ニテ専擔納付シ毎三ヶ月収入勘定帳ヲ
製シ差出スヘキモノナレハ日々収入ノ時
ニ当リテハ予察ノ保證ヲ経スト雖モ壬申
年以前ノ諸税ニシテ國債寮ヨリ納付スレ
モノハ他ノ出納金穀取扱ノ順序ニ異ナル
ナシ

但内勢省ヨリ合議スルモノモ調理ノ順

序ハ前中回議冊ニ異ナルナシ

第三條

傳票ヲ要スル金穀ノ計數ヲ清査ス貝差異ナキ
ヲ保スル事

第一節

卿輔ノ決判ヲ経テ出納スヘキ当用ノ金穀
ハ指令交付等総テノ手續畢テ後主務ノ察
司ニテ其院省使府縣ニ就キ即時受納ニ差
支ナキヤ否ヤヲ推定シ其支障ナキハ回議
冊ニ　要傳票　ノ印ヲ捺ス成規アルモノニシ

テ仕出書ヲ以収支スルハ傳票謄書ヲ差出
シタル後両旬スルヲ程度トス故ニ
ノ押印ナキ謄書ノ添ハサルモノハ直ニ
主務ノ察局ニ送付スヘシ
但卿輔ノ決判ヲ経ルト経サルトハ序一
條中第十節ニ就テ見ルヘシ且傳票ニ付
スル議册ハ常ニ記録登ノ焉ヲ以テスヘ
シ

第二節

前節ノ如ク総テノ手續了リテ傳票ヲ要シ

要傳票

来ルモノハ其簿冊ニ就キ収支スヘキ事由
顛末ト負數トヲ日メ帳ニ登記シ而シテ原
書ト日メ帳ニ番号ヲ符シ以テ送達ノ順序ニ
便ナラシムヘシ此番号ハ納ト拂トノ區分スル
シ

但支出スルモノハ貨幣各種ノ品類ト銀
行ノ預ケ場所トヲ區分記載スヘシ

第三節

既ニ録上スルモノハ日メ簿冊ト面議原書
若クハ傳票達書ヲ頭ヘ差出シ検證ノ印ヲ

勘合シ其差異ナキヲ保シテ傳票課ニ送致スヘシ

第四節

證書ヲ以テ地租ヲ収入シ直ニ諸経費ニ支出スルモノハ各寮局課ヨリ決議函ノ面議冊ヲ送付スルアルモ本課ニ止メ置キ傳票課ヨリ通知スルヲ俟テ送達ノ順序ヲナス可シ更同時ニ納受ヲナスヘキニノニシテ而シテ地租ノ収入ハ本課ノ保證ヲ経サルヲ以テノ故ナリ

第五節

準備中ヨリ支出スヘキハ其額中一類二類等ノ區分（一類二類等ノ區分ハ準備金傳票并會計規則ニ就テ見ルヘシ）アルカ故ニ決議濟ノ簿冊簿等ハ主任ヨリ先ツ國債寮ニ送付シ同寮ニテハ種類ノ押印ト帳記濟ノ印ヲ勘合シテ当寮ニ付スルノ常則タリ

第六節

其収入スヘキハ主務ノ院省使府縣ヨリ先ツ国債寮ニ納入シ國債頒ノ傳票連書ヲ卿輔ノ決判アル面議簿冊若クハ工納達書ヲ

活ヘ本廉ヘ送付スルヲ以テ又種類ヲ称
ヲ及ヒ帳簿ノ印ヲ即日スル等ハ之ヲ
ノ金穀ニ異ナルナシ

第七節

総テ準備ノ収支ハ種類部分ト帳記済ノ押
印ナキハ主務ノ察知ニ返付スル事トス

第八節

準備ノ支出モ別ニ日メ帳ヲ製シ収支顛末
事故ト其員数トヲ登記スルハ当用ニ異ナ
ルナシト雖モ傳票達書ニ随ヒ一類ニ類ス

ノ印ヲ其帳簿ニ捺スヘシ

第九節

日メ帳ハ当用準備ト貨幣各種ノ品類ト銀
行ノ預リ場所トヲ区別シ日計月計ヲ作ル
ヘシ当用支出ノ如キハ傳票課ヨリ送致ス
ル渡帳ニ因リ其区分ヲ月計ノ内書ニ詳記
シ而メ追窠擔任ノ者ニ付スヘシ

第四條

一般勘定簿冊ニ付テ収支金穀ノ多寡ヲ明カニ
シ正窠追窠ノ區畫ヲ分別スル事

第一節

第三條日ノ帳ハ日々出入ノ金穀ヲ付ケ辺ニ只当用準備ヲ區別スルモノニシテ遠算整理等ノ不便ナレハ別ニ追算帳ヲ設ケヘシ此追算帳ハ院省使庁縣ト当用準備ト ヲ區分シ日々出入スル金穀ノ多寡ト顛末事由トヲ日々ノ帳ヨリ謄寫シ日計月計ヲ作ルヘシ

但追算帳ハ金額ノ多寡ヲ詳明ニシ勘定仕上ヲ速調清理スル為ナレハ貨幣名種ノ品目ヲハ區分セサル可シ

第二節

出納寮ニテ調成スル毎一ケ月当用準備出納ノ勘定帳ト各廳ヨリ出納頭名充ヲ以差出シタル請取證書トハ卿輔ニ出シ卿輔一覧ノ後本寮ニ付スルヲ則トス而シテ此勘定帳ト請取證書トハ本課ニテ登記セル遠算帳ト廉ヒ貨数ヲ突合以遠算調理ノ元原トスヘシ

第三節

地租ヲ始メ其他ノ諸稅ハ毎三ヶ月一府縣
毎ニ稅目ヲ品別シ上納スヘキ計數ト一ヶ
月間現納金穀ノ多寡ト全納未納等ノ區分
トヲ詳細ニ記載シタル勘定簿冊ヲ租稅寮
ニテ調成シ卿輔ニ呈セハ之ヲ太政ニ付ス
ルヲ則トス

第四節

稅外諸收入帳ハ院省ハ毎一ヶ月府縣ハ毎
三ヶ月經費勘定帳ト共ニ上呈スルヲ定規
トスレハ第二第三兩節ニ成算課ニテ現納ノ多寡

及ヒ後日納入スヘキ員數ヲ清査調算シ本
課ニ付スヘシ

第五節

前三四節ニ掲クル收入勘定帳ハ調査詵算了
テ其差異ナキモノハ第二第三課ニテ卿輔
ノ諮取證書ヲ製シ帳簿ト共ニ本課ニ付ス

第六節

凡ソ交付ノ金穀ハ常額内外ヲ問ハス院省
及ヒ東京府ハ毎一ヶ月其他ハ毎三ヶ月ヲ
期トシ正實勘定帳ヲ製シ以テ上達スルヲ

則トス而ノ此簿冊ニ於ル院省ハ第二成算課府縣ハ第三成算課ニ回付シ元請高ノ員數ヲ突合セ其差異ナキハ元受官吏ノ印ヲ押シ以之ヲ證シ前ノ兩課ニ返付スヘシ

第七節

其簿冊ハ主務ノ名課ニテ清理經算シ頭ノ捺印ヲ經郷鎮ノ記名アル決算濟ノ證書ヲ製シ勘定簿冊ト共ニ本課ニ付ス

第八節

第五節ニ掲クル收入濟ノ請取証書ト前節ノ諸費決算濟證書トハ其勘定簿冊ニ突合セ税外收入及ヒ支出ノ金穀ハ決算既濟ノ日月ト事由トヲ追算帳ヘ明ラニ記載シ諸税納ノモノニテ租税案據當ノモノハ第二條ノ十三節ニ掲クル如ク納額ヲ登記セシ帳簿ナキカ故ニ租税案ヨリ送致スル勘定帳ニ照リ別ニ簿冊ヲ製シ本納未納等ノ訳ヲ詳明ニ登記シ而ノ請取證書ト決算濟證書ノ員數ヲ各簿冊ニ突合セ其員數ノ不差

ナキヲ要シ證書渡ノ印ヲ勘合シ之ヲ頭ニ
出シ頭之ニ勘合ノ印ヲ押シ以テ之ヲ卿輔
ニ出ス卿輔調印ヲ了テ本課ニ達スルコトヲ
第九節
卿輔調印濟ノ請取證書ハ稅外收入ノモノ
ハ直ニ主務ノ院省等ヘ交付シ諸稅納ノ分
ハ租稅寮ニ付シ同寮ニ於テ主務ヘ下付シ
最ニ出納頭ヨリ下付シタル諸取證書ハ返
致セシムルヲシ
但此請取證書ヲ返致セシムルハ卿輔ノ

請取證書ヲ交付スルヲ
トス
第十節
決算既濟ノ證書ハ最ニ其金穀ヲ領收スル
トキ出納頭ノ名宛ヲ以差出シタル請取證
書若クハ決算未濟ノモノニシテ本寮頭ノ
名宛ヲ以差出シタル證書ト共ニ其主任ヨ
下付スヘシ
第十一節
諸收入金ノ納付スヘキ金額既ニ確定シタ

ルモノニシテ一時全納ナリ難キモノハ其
納入スヘキ期月若クハ後日納入スヘキ訳
ヲ記載シ交付ノ金穀ニ元請高ノ全數精選
ニ至リ難キハ精選未濟ノ負數ヲ記シ其長
官ヨリ本寮頭ノ名宛アル證書ヲ差出サシ
ムヘシ

但此證書ヲ差出サシムルモ第九節第十
節ニ掲クル卿輔ノ請取證書及ヒ決算濟
ノ證書ヲ下付スルニ於テス可シ

第十二節

決算濟ノ證書ヲ交付スルニ當リ其交付ス
ヘキ旨ヲ主勢ノ院省使等ヨリ寮頭ノ名ヲ以
テ通知シ請取人ヲ出サシメ證書ヲ下付シ
請取證ヲ取置クヘシ若シ未決算ノモノア
ラハ其證書ヲ若干サシムルモ亦此時ニ於
テスヘシ

第十三節

金穀ノ收入ニ屬スルモノハ納入ノ上ヲ以
納頭ノ名ヲ以下付スル請取証ヲ甲号トシ
未納ノモノニシテ追テ納入スヘキ証書ヲ

乙号トシ収入帳調ノ末郷輔ノ名ヲ以下付スル請取証書ヲ丙号トシ支出ニ属スルモノ出納頭ノ名宛ヲ以テ出ス仍テ請取書ヲ第一号トシ未決算ノ証書ヲ第二号トシ決算済ノ証書ヲ第三号トシ渾テ此証書ニハ番号ヲ符シ授受交換ニ便ニス可シ

第十四節

此証書ノ請取簿冊ハ第一二三号甲乙丙号ト區分成製シ月日ト證書ノ符号トヲ明細ニ書記シ交付スル時々必ス請取人ヲシテ

記名調印セシムヘシ

第十五節

諸収入金ノ納付スヘキ期月アルカ或ハ幾日納入スヘキモノ決算ニ至ラサルモノハ時々追等帳等ニ就キ有零調理シテ主帥ノ各課ハ其旨ヲ申達督促ニ勉メテ清理計算完結ニ至ラシムルヲ要スヘシ

第十六節

出納寮ニテ調成シタル勘定簿冊ハ毎一月

ノ月報調成ノ為メ一旦縣計寮ニ送致スト
雖モ送付スルノ後ハ永ク本課ニ止ム可シ
諸向ヨリ差出ス卿輔調印ノ決算證書交付ノ後ハ直ニ第
五成算課ニ送付シ諸収入帳ハ本課ニ止ム
ルコトヌ

第五條

出納金穀ノ概數及ヒ追算ニ渉ル金穀ノ負擔ヲ
明ニスル事

第一節

毎一月収入ス
成シタル勘定
ト其月ヲ入ス
当用準備ヲ區
シ以テ頭ニヲ
第二節
署表ノ外別ニ
以卿輔ノ按印
ク此表タル毎一月院省使庁縣ニ交付スル
金穀ノ多寡ト従前ヨリ交付シタルモノニ

納

何府
何省
縣

成算高

一月 日　何号
何ニ不用品拂代何程ノ内　仕出何号

金何程

何日 一

金何程

今日　何号
何ニ入賃金ノ内何月幾日成算残金ノ内

金何程

何日 三

金何程

ニテ未タ決算ニ至ラサルモノト其月正算ニ至ルモノト及ヒ諸収入金ノ全納未納ヲ明細ニ區分シタルニノナリ

第三節

追算表ノ既ニ卿輔ノ検印了リタルモノハ別ニ登寫シ以統計寮ニ送致シ卿輔検印済ノモノハ本課ニ滞ヰ以テ後日ノ照會ニ供スヘシ

合

金何程

差引未交眞

合

金何程

成一 眞合

金何程

二月 日

何口ノ何年何月仕拂殘金正拘

金何程

三 何曾

金何程

日

仝何口ノ何年何月定限金內何年分上拘

金何程

米何程

二 何曾

金米何程

日

仝何号ノ何ニ金上拘

金何程

大藏省

合 金 米 何 程

前月未次ノ合 金 米 何 程 (二)成算合 金 米 何 程

差引未次莫 金 何 程

何 省 院 府縣モ合ヒ

仮 拂

成 算 ニ 下

一月 日 何 (二) 金 米 何 程

品川何等一月分定額

何院省何等何号中ヨリ算

金 何 程

残金 米 何 程

三月計高

江何号ノ内ヨリ済

何号ヨリ何ヘ貫凡積

諸務仕出何号ヨリ

日 在 何 (三) 日 金 何 程

仝上仕出

内金 何 程

金 何 程

登何号ヨリ

交ヘ

江戸近水

合計　金何程　米何程

大歳若

二月　日　何号　何ニ用意金別途渡　金何程

日　金　何号　何年何月定額金ノ内　金何程

合計　金何程

大歳若

前月未交合	差引未交眞	
金 米 何程	金 米 何程	如此勘定帳ノ調査濟ニ依リ未交眞ニ詳明ニ登記シ次テ追眞表ヲ製ス
成眞合	金 米 何程	

何年何月中受拂追算表

区分名称	庁名	何院		何省				何使	何府	何縣		
	区類及款項	金	弗	金	弗	米	突	金	金	金	米	金
元	額	前月迄未受高										
		本月分										
		上二口合計										
	額外	前月迄未受高										
		本月分										
		上二口合計										
受	額外合計	前月迄ノ										
		本月ノ										
		合計										
高	交	定額	出									
			入									
	換	額外	出									
			入									
	額外合計	定額										
		額外										
		合計										
超過年月												
減額高	定額有高仕拂											
	額外有高仕拂											
	合計											
元拂差引残												
仝上正納中	定額											
交換金紙	額外											
差出若引兵ノ欠減												
改テ決算	定額											
未納高	額外											

何年何月中受拂追算表

院	何省						何使	何府	何縣		合計			
帋	金	帋	米	斗	夕		金	金	金	米	金	帋	斗	夕

何年何月中納追算表

廳名＼名称	前月迄未交高		仮納高		追計及び内外混淆未交高	勘定帳年月及納入所以	交算高		摘要
	定額	額外	定額	額外			定額	額外	
大藏省	圓	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
外務省	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
宮内省	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
奈良縣	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
兵庫縣	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
諸縣									
合計									

金額又は物件

何年何月中納追算表

日迄未交高		仮納高		過計及び内外滞未交高	勘定帳年月及納之時以	交算高		歩算合計	差引金ノ皮算未済
額	額外	定額	額外			定額	額外		
圧	ノ	ノ		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ

前月未交合	差引未交莫
米 金	米 金
仁	

第五成算課處務順序

第五成算課處務順序

第一節

凡ソ經費ノ勘定簿冊ハ其諸般ノ手續了リ全ク清帳ニ帰セシ者ヲ第四成算課ヨリ本課ニ送致スルヲ則トスレハ其帳簿ノ到ル毎ニ院省廳ハ第三成算課ヨリ内譯明細帳ヲ出サシメ以テ明細表ヲ製スヘシ内譯明細帳ハ製表ノ用ヲテ後統計察ヘ送付ス可シ

第二節

此明細表ハ一院省一府縣ト各々一表トシ而シ

テ常額内外ト常貫臨時ト経貫ノ品類ト従前ヨリノ貫額ト其月ノ越高元請高及ヒ支出ノ計数ト等詳細ニ区分シ各課ニ於テ検閲ノ後頭ニ出シ頭ノ検印了ツテ而シテ計書ニ付スヘキ事

第三節

計表ヲ製スルニ當リ先ツ勘定帳ヨリ類聚按萃シ各課ヘ回送シタル下帳ト下表トヲ製シ専任ノ客課ヘ回送シタルモノニシテ極メテ一日ノ要ス

第四節

此浄書ハ常ニ三枚ヲ製シテ其二枚ハ勘定帳及ヒ謄帳ト共ニ卿輔ニ呈シ卿輔展閲ノ後一枚ハ手許ニ止メ一枚ハ勘定帳等ト共ニ統計寮ニ附スヘシ而シテ其一枚ハ正院ニ上達スヘシ

以上ノ外本寮各課事務ノ制限ト雖モ繁劇ノ際ハ各課互ニ扶助シテ渋滞ノ患ナキヲ要スヘシ

右分課處務順序ハ大蔵卿ノ判決ヲ得テ定ムルヿナリ然ト雖モ其定限ヲ怠ル勿レ

明治七年六月

検査頭安藤就高

高収穫調附加	金	
〃	米	
同上仕拂高	金	
〃	米	
同一ノ平均高	金	
〃	米	

合計 〃

費時臨

合計 〃

合計

何用ノ何月分合計

類コトノ入費金高ナリ ○第十三ハ第十二ノ入費ヲ累月ニ層計シタル高ナリ
ノ符号モ左ヨリ數ヲ起セリ ○第一ハ元受高ト仕拂高ト其差引高トヲ並ニ累月ノ受取高ト仕拂高
〜第三ハ常費臨時費ノ細目ニ其一ケ月ト累月トノ合計ヲ指示ス題ヲナリ ○第四ヨリ第十一迄ハ省略ス

表算精拂受中月何年何使省院何

受拂総括			費用細目	本省	何寮	何局	何司	何〻	〻	〻	〻	合計	何月ヨリ何月迄
年〻金額定			常費	円									
元受	細	円	官員月給	金									
本月〻取高	〻	米	同上旅費	〻									
今			外國人給料	〻									
前月ヨリ越高	金	米	同上旅費	〻									
今			等外月給	〻									
本月臨時費取高	金		生徒給料	〻									
			同上諸費	〻									
合計	金		〻 直賄	〻									
今	米		〻 營繕	〻									
拂高			〻 運送	〻									
本日仕拂高	金		小買物	〻									
今	米		内外電信郵便	〻									
本月臨時仕拂高	金		書籍器械	〻									
〻〻〻〻	〻		諸備給	〻									
〻〻〻〻	〻		諸費	〻									
〻〻〻〻	〻		何〻	〻									
差引残高	金												
今	米												
何月ヨリ何月迄取高	金												
今	米												
同上仕拂高	金												
今	米												
同上一月平均高	〻												
今													
			合計	金									
			今	米									
			臨時費										
			合計	金									
			今	米									
			二費合計	金									
			何月ヨリ何月迄	金									
				米									

凡例

司等ニ属スル第三細目コトノ入費ノ高ナリ○第十二ノ八第一省ニ察司等ニ属スル一種類コトノ入費金高ナリ○第十三ノ八常費臨時費ノ細目ニ係ル二ヶ月ト雖モ其ノ月ト合計ヲ指示ス題号ナリ○第一ノ八第一ノ題号ニ属スル金額ノ高ナリ○第三ノ八常費臨時費ノ細目ニ係ル二ヶ月ト雖モ其ノ月ト合計ヲ指示ス題号ナリ○第一ノ八第一ノ題号ニ属スル金額ノ高ナリ○第十三ノ八常費臨時費ノ細目ニ係ル二ヶ月ト雖モ其ノ月ト合計シタル高ナリ

一月平均高ヲ指示ス題号ナリ○第一ノ八第一ノ題号ニ属スル金額ノ高ナリ○第三ノ八常費臨時費ノ細目ニ係ル二ヶ月ト雖モ其ノ月ト合計ヲ指示ス題号ナリ○第一ノ八第一ノ題号ニ属スル金額ノ高ナリ○第十三ノ八常費臨時費ノ細目ニ係ル二ヶ月ト雖モ其ノ月ト合計シタル高ナリ

○表中ノ数ハ左ヨリ右ヘ算ス位ハ一ヲ以テ十ト為シ十ヲ以テ百ト為シ百ヲ以テ千ト為シ千ヲ以テ万ト為シ万ヲ以テ十万ト為シ十万ヲ以テ百万ト為シ百万ヲ以テ千万ト為シ千万ヲ以テ億ト為シ億ヲ以テ十億ト為シ十億ヲ以テ百億ト為シ百億ヲ以テ千億ト為シ千億ヲ以テ兆ト為シ兆ヲ以テ十兆ト為シ十兆ヲ以テ百兆ト為シ百兆ヲ以テ千兆ト為シ千兆ヲ以テ京ト為シ京ヲ以テ十京ト為シ十京ヲ以テ百京ト為シ百京ヲ以テ千京ト為シ千京ヲ以テ垓ト為シ垓ヲ以テ十垓ト為シ十垓ヲ以テ百垓ト為シ百垓ヲ以テ千垓ト為シ千垓ヲ以テ𥝱ト為シ𥝱ヲ以テ十𥝱ト為シ十𥝱ヲ以テ百𥝱ト為シ百𥝱ヲ以テ千𥝱ト為シ千𥝱ヲ以テ穣ト為シ穣ヲ以テ十穣ト為シ十穣ヲ以テ百穣ト為シ百穣ヲ以テ千穣ト為シ千穣ヲ以テ溝ト為シ溝ヲ以テ十溝ト為シ十溝ヲ以テ百溝ト為シ百溝ヲ以テ千溝ト為シ千溝ヲ以テ澗ト為シ澗ヲ以テ十澗ト為シ十澗ヲ以テ百澗ト為シ百澗ヲ以テ千澗ト為シ千澗ヲ以テ正ト為シ正ヲ以テ十正ト為シ十正ヲ以テ百正ト為シ百正ヲ以テ千正ト為シ千正ヲ以テ載ト為シ載ヲ以テ十載ト為シ十載ヲ以テ百載ト為シ百載ヲ以テ千載ト為シ千載ヲ以テ極ト為シ極ヲ以テ十極ト為シ十極ヲ以テ百極ト為シ百極ヲ以テ千極ト為シ千極ヲ以テ恒河沙ト為シ恒河沙ヲ以テ十恒河沙ト為シ十恒河沙ヲ以テ百恒河沙ト為シ百恒河沙ヲ以テ千恒河沙ト為シ千恒河沙ヲ以テ阿僧祇ト為シ阿僧祇ヲ以テ十阿僧祇ト為シ十阿僧祇ヲ以テ百阿僧祇ト為シ百阿僧祇ヲ以テ千阿僧祇ト為シ千阿僧祇ヲ以テ那由他ト為シ那由他ヲ以テ十那由他ト為シ十那由他ヲ以テ百那由他ト為シ百那由他ヲ以テ千那由他ト為シ千那由他ヲ以テ不可思議ト為シ不可思議ヲ以テ十不可思議ト為シ十不可思議ヲ以テ百不可思議ト為シ百不可思議ヲ以テ千不可思議ト為シ千不可思議ヲ以テ無量大数ト為シ無量大数ヲ以テ十無量大数ト為シ十無量大数ヲ以テ百無量大数ト為シ百無量大数ヲ以テ千無量大数ト為シ千無量大数ヲ以テ一ト為シ

表算精 自 何 至 及 中 月 何 年 何 治 明　縣 府 何

費用細目		本廳	支廳	何ヶ所	何々	〃	〃	〃	〃	合計	何月ヨリ何月平均
常費	歳出 歳入	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
官員月給	金										
加上旅費	〃										
外国人給料	〃										
同上旅費	〃										
雑給	〃										
雑費	〃										
合計	金										
臨時費											
家禄	金米										
全	〃										
賞典	〃										
全	〃										
神官月給	〃										
葬祭料	〃										
社寺修繕	〃										
全	〃										
合計	金										
合	米										
臨時費	金										
賜饌	〃										
大火罹災救助	〃										
賞与	〃										
免税賜与	〃										
雑費	〃										
合計	金										
三費合計	金										
全	米										
何月何日現在	金										
全	米										

受拂總括

定額	金	一ヶ年	上
同上	米	一ヶ年	上

元受	歳出 歳入	円
拂渡高	金	
全	米	
前月ヨリ越高	金	
全	米	
合計	金	
全	米	
拂渡高	金	
全	米	
前月ヨリ越高	金	
全	米	
合計	金	
全	米	
拂戻高	金	
全	米	
合	金	
米		
総計	金	
全	米	
拂高		
拂渡高	金	
全	米	
拂戻高	金	
全	米	
拂過高	金	
全	米	
合計	金	
全	米	
何月ヨリ何月迄定額受取高	金	
全	米	
何月ヨリ何月迄概算受取高	金	
全	米	
合計	金	
全	米	
何月何日現在		
全		
何ヶ月平均		
全		

貸附出納

累月貸附未納高	累月貸附高	拂渡一期貸附高	貸附高合計	累月元利納高	累月元利納高	累月未拂高	拂戻高	拂戻高	差引未納高	累月利子納高	累月利子納高	利子納高合計

凡例

一 精算ノ首尾ヲ全スルタメ其大約ヲ記載ス

一 歳入費合計ナリ○第十六款十一ノ入費ヲ累月二回計シタル高ナリ○表中末段ニ載スル貸附出納ハ全ク成出ニ属セスト雖モ歳入ノ入費合計ニ関係スルヲ以テ茲ニ記載ス

一 合計ヲ指示ス題号ナリ○第四ヨリ第十迄ハ一廳一部等ニ属スル費目ノ細目ニテ其一ヶ月平均高ヲ指示ス題号ナリ○第二ハ其一ヶ月ヨリ越高ヲ指示ス題号ナリ○第三ハ常費臨費等ノ細目ニテ其差引高ヲ拂高ト其一ヶ月平均高ヲ指示ス題号ナリ○表中末段ニ載スル貸附出納ハ全ク成出ニ属セスト雖モ歳入ノ入費合計ニ関係スルヲ以テ茲ニ記載ス

一 第一ヨリ第十六ニ至ル迄ノ各表ニ於テ受高ト拂高トヲ比較シ其差引高ヲ拂高ト為シ金ハ厘位ノ台ニ止メ以下截ス此ノ台ニ止メ以下截スル所ノ第一ヨリ第二ノ符号モ左ヨリ截ヲ起セリ○第八ノ受高ト拂高トヲ比較シ其

表ノ精拂受月何至月何自年何治明　縣何

拂總用費

費用細目	入費高	何月ヨリ何月マデ合計
常費仕拂	圓	
旅費	金	
等外月給	〃	
本廳	〃	
囚獄	〃	
刑務支所	〃	
東京支廳	〃	
輸送賃金	〃	
鑑札免許	〃	
何々	〃	
合計	〃	
奏任官月給	〃	
判任官月給	〃	
同上殘仕拂	〃	
捕亡	〃	
通計	金	
概費仕拂		
家祿	金米金米金米金米金	
公典賞	〃	
公金	〃	
神官月給	〃	
囚人食料	〃	
徒場給	〃	
流人養育	〃	
棄兒養育	〃	
社寺領半租	〃	
公金	〃	
何々	〃	
合計	金米	
臨時仕拂		
賑恤救助	金	
非常災害	〃	
何々	〃	
合計	金	
三費合計	金米	

拂受拂概括

一ケ月平均高	何月ヨリ何月マデ仕拂合計	何月ヨリ何月マデ受取合計	差引殘高	拂高	合計	前月殘越高	各元受高	費目	常備額	常備定年額
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	常費	圓	圓
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	常備給	金	金
								奏任官月給	〃	〃
								判任官月給	〃	〃
								同上增額	〃	〃
								合計	〃	〃
								捕亡	〃	〃
								同上增地	〃	〃
								合計	〃	〃
								半仕官月給	〃	〃
								通計	金	
								概費		概費定年額
								家祿	金	金
								公典賞	金米金	金
								公金	〃	〃
								神官月給	〃	〃
								牢囚人食料	〃	〃
								懲役人給養費	〃	〃
								棄兒養育	〃	〃
								合計	金米	金米
								公金	〃	〃
								臨時費		
								合計		
								三費合計	金米	金米

諸貸附

累年未拂貸附高	當月貸附高	一期償還貸附高	合計貸附高	當月返納高	一期返納高

納付

當月捨置高	一期捨置高	差引未納高	當月利子納高	一期利子納高	利子納合計高

屬ル入費高ナリ○第十二其入費ノ累月層計シタル高ナリ○表中來段ニ載スル諸費附出額ハ全ク嚴出ニ屬セス雖受拂精算ノ首尾ヲ全クスル爲メ其大約ヲ記載ス

凡例

○拂高ハ逐月累算シタル高ナリ○第十八拂高ハ每月ニ平均シタル高ナリ○第六ハ各種ノ費目ト屬スル仕拂高ナリ○第七ハ合計ヨリ拂高ヲ引キタル高ナリ○第八每次ノ元受高ト累月層計シタル元受高ト殘高ヲ合セタル高ナリ○第九ハ前月中仕拂ヲ金額ノ高ナリ○第十ハ其細目ヲ○第十二常費概費臨時費ノ細目ヲ○第十三第一第二第三ノ費目ヲ充ツル受取見金額ノ高ナリ○第四ハ前月中仕拂ヲ金額ノ高ナリ○第五ハ常費ト概費ト臨時費トヲ區別シ其費目ヲ記ス○第三第二第一ノ順算シ金圓位未滿ニ止ル以下載スル所ノ第一第二ノ符号ヲ左ヨリ數ヲ起ス○第一ハ全年ノ定額費及概費凡積ノ金高ヲ示ス○表中ノ數ハ左